



三和商工会解散記念誌

設立から64年
感謝と躍進の軌跡



三和商工会解散記念誌

目次

ご挨拶

三和商工会の解散を迎えて

三和商工会 会長 西山 薫	1
---------------------	---

寄稿

三和商工会の解散によせて

新潟県商工会連合会 会長 早川 吉秀	2
歴代会長	3
三和商工会のあゆみ	4
歴代顧問・会長・副会長・理事・監事名簿	17
歴代部会長名簿	21
歴代青年部・女性部(婦人部) 部長名簿	23
令和6年度役職員名簿	24
令和6年度会員名簿	25
三和村商工会館建設概要	29
三和商工会及び三和区の概要	30
商工会の組織集約化に向けた取組経過・予定	31
商工会解散によせて	33
思い出の写真	37



三和商工会の解散を迎えて

三和商工会
会長 西 山 薫

昭和 35 年 8 月に三和村商工会として設立総会を開催し、平成 17 年 1 月には旧上越市と合併し、新たに三和商工会として、当会の運営を引き継ぎ半世紀以上にわたり、歴代会長を始め会員や役職員の奮闘により今日に至るまで着実な発展を遂げてきました。

地域産業としては農業を主体とした土地柄ですが、昭和 40 年代から近代農業となる機械化が図られ、人口の流出が都市部へと加速していきました。三和地区は、商店街を持たない地域として集落の個人商店が主体でそれなりの発展も遂げていました。

昭和 40 年代からはスーパーマーケットが進出し始め、さらなる個人商店の衰退が加速していきました。特に当商工会は職人といわれる方々が多くおられ、昭和 55 年頃の商工会設立 20 周年前後にはそれらの建設業数は、会員 230 人に対して 125 人と半数以上の方々に占められていました。

その後、全国的に少子高齢化や後継者不足の波が広がり、当会においても避けられない重要課題として捉え、既存事業の継続だけでは商工会員が減少し地域経済が衰退すると懸念し、特産品開発に取り組むとともに三和区の魅力を区内外に発信して、確実に地域経済に貢献できる消費喚起・需要拡大事業（さんわ桜の陣やプレミアム付商品券発行事業等）の推進を図り、三和商工会の認知度向上と会員数の純増や地域経済効果の増加を実現することができました。

そのような中、令和元年度から財務検討委員会と会員増強推進委員会を年 2 回定期的に開催し、組織運営の見直しに取り組んできました。

しかし、少子高齢化等の課題に加え政府日銀がゼロ金利政策をとることで日本経済の停滞が 30 年以上にわたり、新潟県財政も厳しい状況となり商工会運営の補助金に影響を与えることとなったことから、県内商工会の合併について強く要望され、今日の大規模合併が推進される動きとなりました。

当会も小規模事業者の持続的発展に寄与する支援体制を構築するため、清里牧商工会、板倉商工会、中郷商工会と合併をすることとなり、令和 7 年 4 月 1 日に「上越南商工会」として新商工会が誕生することとなります。

新商工会では厳しい経済社会環境の中ではありますが地域経済の発展のため、新潟県商工会連合会並びに上越市を始めとする関係機関等の皆様とも連携を図り、会員各位の経営のさらなる発展と成長、効率化を進めてまいります。

先人の皆様のご努力に感謝申し上げるとともに、会員の皆様のご理解とご協力を節にお願い申し上げます。解散に当たっての挨拶とさせていただきます。



三和商工会の解散によせて

新潟県商工会連合会

会長 早川 吉秀

はじめに、今日まで貴商工会の育成・発展に尽力され、今日の栄えある商工会の基礎を築かれた歴代の役職員、会員の皆様のご苦労に対し深く敬意を表する次第です。

ご高承のとおり、商工会は、昭和35年6月10日の商工会法施行により、会員の参画による自主的な運営のもと、地区内における商工業の総合的な改善発達を図る「経済団体」と、国、県、市町村の助成を受け設置された補助対象職員等により、地区内の小規模事業者等の経営改善を支援する「支援機関」の、二つの側面を持ち合わせた特別認可法人として歩み始め、以来、商工会を取り巻く環境が大きく変わっていく中で一貫して“地域の発展”のために尽力してきました。

貴会においても、法に基づく設立認可後、会員の拠りどころたる商工会館の竣工や近隣商工会との広域連携などを経ながら、会員を増やし、組織率を高めながら、地域振興事業や経営改善普及事業に積極的に取り組み、市町村合併、新型コロナウイルス禍といった、大きな環境の変化の中にあっても怯むことなく、常に地域とともにあり、組織一丸となって、その経済と社会生活を支えてこられました。

一方で、少子高齢化、都市部への人口流出などの社会経済構造の変化に伴う地域需要の縮小、商工業者の廃業等による会員数の減少により、県内商工会の多くは、財政の脆弱化、事業の担い手不足、経営支援機能の低下に対する懸念を抱えることとなり、それぞれの地域の状況に応じた、小規模事業者の経営支援と、地域商工業者の活性化に最も望ましい形での組織体制の整備、構築が急務となってきました。そうしたことを受け、県連合会では、令和3年4月から、組織基盤と経営支援体制の強化策として行政区ごとの集約を基本としつつ商工会合併を推し進めてまいりました。

貴会においては、西山会長を中心に役職員が一体となり、関係商工会と協議を重ね、緊密に連携を図りながら、令和7年4月1日に板倉、中郷、清里牧の3商工会と合併し「上越南商工会」として新たなスタートを切ることになりました。

今後は、新たな組織体制の下で、三和村商工会設立以来、商工会活動において、培われてきた英知と創造力を結集し、引き続き、会員の皆様の良きパートナーとして、地域の総合経済団体並びに支援団体としての使命を果たされるようお願いするとともに、新たな時代に向けての変革とさらなる飛躍を遂げられますことをご祈念申し上げ、あいさつの言葉といたします。

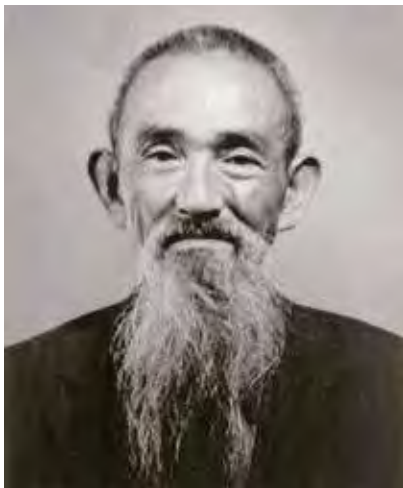
歴代会長



初代会長 室 健治
(昭和 35 年 8 月～昭和 36 年 6 月)



二代会長 宮崎 泰三
(昭和 36 年 6 月～昭和 43 年 12 月)



三代会長 野崎 録夫
(昭和 44 年 6 月～昭和 62 年 5 月)



四代会長 松縄 賢午
(昭和 62 年 5 月～平成 8 年 5 月)



五代会長 石塚 賢
(平成 8 年 5 月～平成 18 年 5 月)



六代会長 富村 静一
(平成 18 年 5 月～平成 26 年 5 月)



三和商工会のあゆみ



昭和35年8月～令和6年11月

昭和35年 (1960)

8月31日 設立総会
会場/三和村役場 会員数/186名

予算等

予算額 372千円 県補助金 115千円
会費 56千円 市町村補助金 40千円

役員

会長 室 健治
副会長 宮崎 泰三 野崎 録夫

事務局員

1名

できごと

- 出席者126人(内委任状65人)
- 会費は年額300円/人
- 加入金500円/人
- 新潟県商工会連合会への加入に同意

昭和36年 (1961)

6月30日 第1回総会
会場/三和村役場 会員数/187名

予算等

予算額 699千円 県補助金 385千円
会費 57千円 市町村補助金 70千円

役員

会長 宮崎 泰三
副会長 野崎 録夫 雲田 軍治

事務局員

室岡 昭 保坂マツノ

できごと

- 振興部を改め8月商業部及び工業部の設立

昭和37年 (1962)

5月14日 第2回総会
会場/三和村役場 会員数/184名

予算等

予算額 730千円 県補助金 471千円
会費 57千円 市町村補助金 60千円

役員

会長 宮崎 泰三
副会長 野崎 録夫 雲田 軍治

事務局員

室岡 昭 保坂マツノ

できごと

- 牧村商工会と協同して商工経営、簿記の実務等の講習会

その他のできごと

- ・8月 第1回村民青少年体育大会(後の村民体育大会)

昭和38年 (1963)

5月12日 第3回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/229名

予算等

予算額 884千円 県補助金 564千円
会費 150千円 市町村補助金 80千円

役員

会長 宮崎 泰三
副会長 野崎 録夫 高澤 直一

事務局員

室岡 昭 保坂マツノ

できごと

- 5月 建築部の設立
- 5月 板金部の設立

その他のできごと

- ・1月 三八豪雪

昭和39年 (1964)

5月31日 第4回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/227名

予算等

予算額 1,037千円 県補助金 583千円
会費 182千円 市町村補助金 200千円

役員

会長 宮崎 泰三
副会長 野崎 録夫 高澤 直一

事務局員

室岡 昭 保坂マツノ

できごと

- 7月 左官部の設立
- 8月 盗難事故被害発覚

その他のできごと

- ・6月 新潟地震発生

昭和40年 (1965)

5月1日 第5回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/226名

予算等

予算額 1,287千円
会費 230千円
県補助金 712千円
市町村補助金 250千円

役員

会長 宮崎 泰三
副会長 野崎 録夫 高澤 直一

事務局員

今井 昭 ほか2名

できごと

- 三和村創立10周年記念祝賀自動車パレード等
- 三和村創立10周年記念大売出し

その他のできごと

- ・11月 第1回村一周駅伝大会
- ・健康の村を宣言

昭和41年 (1966)

5月10日 第6回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/228名

予算等

予算額 1,709千円
会費 260千円
県補助金 977千円
市町村補助金 250千円

役員

会長 宮崎 泰三
副会長 野崎 録夫 高澤 直一

事務局員

今井 昭 ほか2名

できごと

- 7月 青色申告部の設立

昭和42年 (1967)

5月5日 第7回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/227名

予算等

予算額 2,116千円
会費 300千円
県補助金 1,151千円
市町村補助金 350千円

役員

会長 宮崎 泰三
副会長 野崎 録夫 上野順三郎

事務局員

今井 昭 ほか3名

できごと

- 理事数を20人から14人に改正
- 職員服務給与規程を全部改正

昭和43年 (1968)

5月21日 第8回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/217名

予算等

予算額 2,300千円
会費 350千円
県補助金 1,141千円
市町村補助金 400千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎

事務局員

宮沢 啓吾 今井 昭
濃野 憲一 松井 千恵

できごと

その他のできごと

- ・高性能防除機(カーペット)を設置
農家の負担が軽減される

昭和44年 (1969)

6月26日 第9回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/221名

予算等

予算額 2,740千円
会費 380千円
県補助金 1,425千円
市町村補助金 430千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎 渡辺 貞雄

事務局員

宮沢 啓吾 今井 昭
濃野 憲一 松井 千恵

できごと

- 7月 青年部の設立

昭和45年 (1970)

5月9日 第10回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/217名

予算等	予算額	3,070千円
	会費	433千円
	県補助金	1,659千円
	市町村補助金	470千円

役員
会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎 渡辺 貞雄

事務局員
宮沢 啓吾 今井 昭 濃野 憲一
笹川 雪江 高橋 マサ

できごと

- 永年勤続従業員等の表彰

その他のできごと

- ・ 国勢調査 (三和村の人口7,431人)

昭和46年 (1971)

5月1日 第11回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/222名

予算等	予算額	3,468千円
	会費	488千円
	県補助金	1,636千円
	市町村補助金	800千円

役員
会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎 渡辺 貞雄

事務局員
上野千代雄 濃野 憲一
羽尾フミ子 小沼 芳子

できごと

- 中元及び年末大売出し

その他のできごと

- ・ 人口減により過疎地域に指定

昭和47年 (1972)

5月1日 第12回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/219名

予算等	予算額	3,944千円
	会費	535千円
	県補助金	1,834千円
	市町村補助金	800千円

役員
会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎 渡辺 貞雄

事務局員
上野千代雄 濃野 憲一
羽尾フミ子 小沼 芳子

できごと

その他のできごと

- ・ 4月 村立三和中学校が創立

昭和48年 (1973)

5月1日 第13回総会
会場/三和村青年研修所 会員数/210名

予算等	予算額	4,634千円
	会費	649千円
	県補助金	2,274千円
	市町村補助金	800千円

役員
会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎 渡辺 貞雄

事務局員
上野千代雄 濃野 憲一
羽尾フミ子 小沼 芳子

できごと

- 労働保険事務組合三和村商工会事務処理規約制定

その他のできごと

- ・ 6月 野十字路に村で初の信号機設置
- ・ 8月 三和中学校校舎が完成

昭和49年 (1974)

5月5日 第14回総会
会場/連浄寺 会員数/223名

予算等	予算額	5,826千円
	会費	817千円
	県補助金	2,960千円
	市町村補助金	800千円

役員
会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎 渡辺 貞雄

事務局員
上野千代雄 濃野 憲一
羽尾フミ子 小沼 芳子

できごと

その他のできごと

- ・ 高田に長崎屋、大和百貨店が進出
- ・ 国道8号直江津バイパス完成
- ・ 11月 三和中学校落成式

昭和50年 (1975)

5月5日 第15回総会
会場/井ノ口会館 会員数/217名

予算等

予算額 7,870千円
会費 988千円
県補助金 4,210千円
市町村補助金 1,000千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 上野順三郎 渡辺 貞雄

事務局員

前田 好敏 濃野 憲一
羽尾フミ子 小沼 芳子

できごと

- 通常総会において、商工会館建設の方向性を決定
- 商工会館建設資金積立金徴収
会員1人当たり1,000円
- 9月 記帳機械化 端末機導入

その他のできごと

- ・ 国勢調査 (三和村の人口6,931人)
- ・ 水科古墳発見

昭和51年 (1976)

5月5日 第16回総会
会場/井ノ口会館 会員数/223名

予算等

予算額 9,810千円
会費 1,187千円
県補助金 5,223千円
市町村補助金 1,100千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 渡辺 貞雄 松縄 賢午

事務局員

前田 好敏 濃野 憲一
小沼 芳子 沢田 道子

できごと

- 8月13日 第1回商工祭
ゲスト/高城みゆき 入場者/869人
- 1月24日 商工会館準備委員会発足

その他のできごと

- ・ 三和村福祉センター完成

昭和52年 (1977)

5月5日 第17回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/225名

予算等

予算額 11,390千円
会費 1,416千円
県補助金 5,410千円
市町村補助金 1,300千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 渡辺 貞雄 松縄 賢午

事務局員

前田 好敏 濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 沢田 道子

できごと

- 事業に新潟県商工会連合会の委託を受けて
商工貯蓄共済事業の業務を追加する定款改正

その他のできごと

- ・ 2月 記録的豪雪 (積雪2.75m)

昭和53年 (1978)

5月5日 第18回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/226名

予算等

予算額 14,550千円
会費 1,675千円
県補助金 6,495千円
市町村補助金 1,600千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 赤井篤治郎

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 沢田 道子

できごと

その他のできごと

- ・ 7月 三和中グラウンドにナイター設備完成
- ・ 8月 第25回 郡青年大会が三和村で開催

昭和54年 (1979)

5月20日 第19回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/222名

予算等

予算額 15,640千円
会費 1,750千円
県補助金 7,374千円
市町村補助金 1,900千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 赤井篤治郎

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 沢田 道子

できごと

その他のできごと

- ・ 11月 24年ぶりの村長選挙 (投票率96.33%)

昭和55年 (1980)

5月9日 第20回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/230名

予算等

予算額 17,600千円
会費 2,105千円
県補助金 7,982千円
市町村補助金 2,100千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 赤井篤治郎

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子 内山 和市
沢田 道子 筒井 聡久

できごと

- 10月26日 商工会創立20周年記念事業(三和中体育館)
功労者及び永年勤続従業員表彰、
西川峰子歌謡ショー、郷土芸能

その他のできごと

- ・国勢調査(三和村の人口6,679人)

昭和56年 (1981)

5月8日 第21回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/226名

予算等

予算額 18,500千円
会費 2,254千円
県補助金 8,748千円
市町村補助金 2,100千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 赤井篤治郎

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子 内山 和市
沢田 道子 筒井 聡久

できごと

- 5月19日 婦人部設立総会(福祉センター) 部員31人
- 8月7日 臨時総会
「商工会の組織等に関する法律」の一部改正及び「模範定款例」の改正に伴う定款の一部改正についてほかを全員異議なく可決
(出席者119人(うち委任状78人))

その他のできごと

- ・4月 水科古墳公園オープン
- ・10月 役場新庁舎が完成

昭和57年 (1982)

5月6日 第22回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/229名

予算等

予算額 19,380千円
会費 2,432千円
県補助金 9,294千円
市町村補助金 2,400千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 高橋 栄一

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 9月19日 第1回商工会長杯争奪野球大会 参加8チーム

その他のできごと

- ・8月14日 第1回さんわまつり(スポーツ公園)

昭和58年 (1983)

5月16日 第23回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/227名

予算等

予算額 22,210千円
会費 2,535千円
県補助金 10,153千円
市町村補助金 2,500千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 高橋 栄一

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

その他のできごと

- ・3月 県立直江津高校三和分校閉校

昭和59年 (1984)

5月10日 第24回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/224名

予算等

予算額 22,910千円
会費 2,420千円
県補助金 11,669千円
市町村補助金 2,600千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 高橋 栄一

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

その他のできごと

- ・2月 五九豪雪により積雪3.05m記録
- ・4月 スポーツセンター完成

昭和60年 (1985)

5月15日 第25回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/220名

予算等

予算額 22,400千円
会費 2,460千円
県補助金 10,929千円
市町村補助金 2,600千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 6月23日 永年勤続従業員表彰 対象者86人
- 広域指導事業調査研究報告書「頸北地域の観光と物産」を作成

その他のできごと

- ・1月 六〇豪雪
- ・10月 三和村施行30周年記念式典
- ・三和西部工業団地造成工事開始
- ・国勢調査(三和村の人口6,541人)

昭和61年 (1986)

5月15日 第26回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/217名

予算等

予算額 23,380千円
会費 2,460千円
県補助金 11,375千円
市町村補助金 2,600千円

役員

会長 野崎 録夫
副会長 松縄 賢午 池田 寿二

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 10月19日 第1回鮮魚まつり(福祉センター前) 参加店13店

その他のできごと

- ・1月 六一豪雪
- ・三和西部工業団地進出企業操業開始

昭和62年 (1987)

5月14日 第27回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/220名

予算等

予算額 25,130千円
会費 2,560千円
県補助金 11,900千円
市町村補助金 2,700千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 池田 寿二 石塚 賢

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 第1回越後さんわふる里まつりへの協賛
- 会館建設準備委員会及び会館建設実行委員会
- 11月20日 臨時総会商工会館の建設についてを賛成多数で可決(出席者128人(うち委任状81人))
- 2月21日 第1回さんわ雪まつり(スポーツ公園)

その他のできごと

- ・越後さんわ音頭完成

昭和63年 (1988)

5月13日 第28回総会
会場/三和村福祉センター 会員数/212名

予算等

予算額 72,080千円
会費 2,700千円
県補助金 32,182千円
市町村補助金 8,700千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 池田 寿二 石塚 賢

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 11月28日 三和商工会館竣工式典

その他のできごと

- ・全国三和友好姉妹提携締結

平成元年 (1989)

5月16日 第29回総会
会場/商工会館 会員数/209名

予算等

予算額 30,920千円
会費 2,700千円
県補助金 12,490千円
市町村補助金 2,900千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 池田 寿二 石塚 賢

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 4月14日~18日 火災に伴う三和中体育館解体工事の支援
- 7月4日 第1回商工会長杯ゴルフ大会 22人参加

その他のできごと

- ・谷内池オニバスが復活
- ・高齢者コミュニティセンター「ひなた荘」オープン

平成2年 (1990)

5月17日 第30回総会
会場/商工会館 会員数/209名

予算等

予算額 31,365千円
会費 3,058千円
県補助金 13,760千円
市町村補助金 3,000千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 池田 寿二 石塚 賢

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 11月25日 商工会創立30周年記念式典
(永年勤続従業員表彰及びアトラクション郷土芸能)

その他のできごと

- ・三和西部スポーツハウス完成
- ・三和平成住宅団地(神明町)分譲開始
- ・国勢調査(三和村の人口6,397人)

平成3年 (1991)

5月14日 第31回総会
会場/商工会館 会員数/216名

予算等

予算額 33,015千円
会費 4,555千円
県補助金 14,153千円
市町村補助金 3,300千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 池田 寿二 石塚 賢

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子
内山 和市 筒井 聡久

できごと

- 三和村商工会運営規約制定
- 住宅団地造成に伴い商工会建設委員会でモデル住宅5棟を建設

その他のできごと

- ・三和西部工業団地が完成
- ・4月 保健センター完成
- ・11月 三和村の自然と環境を守る村民大会

平成4年 (1992)

5月15日 第32回総会
会場/商工会館 会員数/215名

予算等

予算額 34,830千円
会費 4,686千円
県補助金 14,920千円
市町村補助金 3,600千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 池田 寿二 石塚 賢

事務局員

濃野 憲一 小沼 芳子 内山 和市
筒井 聡久 梅沢 博美

できごと

- 3月24日~3月31日 ふるさと産業おこし事業
「わが町、わが村かくれた味再発見」大和デパート出店

その他のできごと

- ・7月 米と酒の謎蔵がオープン

平成5年 (1993)

5月12日 第33回総会
会場/商工会館 会員数/211名

予算等

予算額 42,110千円
会費 4,686千円
県補助金 19,456千円
市町村補助金 4,400千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 石塚 賢 富村 静一

事務局員

池田 寿二 濃野 憲一 中島 良雄
小沼 芳子 内山 和市 梅沢 博美

できごと

- 事務局長を採用
- 青年部役員任期を3年から2年に改正
- 全国さんわ、みわ町村青年部交流会(三和村担当)

その他のできごと

- ・第三セクター三和振興株設立
- ・7月 味の謎蔵がオープン

平成6年 (1994)

5月17日 第34回総会
会場/商工会館 会員数/214名

予算等

予算額 41,680千円
会費 2,920千円
県補助金 20,626千円
市町村補助金 4,230千円

役員

会長 松縄 賢午
副会長 石塚 賢 富村 静一

事務局員

池田 寿二 中島 良雄 小沼 芳子
内山 和市 梅沢 博美

できごと

その他のできごと

- ・三和振興株ネーチャリングホテル「米本陣」オープン
- ・7月 濁水により給水制限

平成7年 (1995)

5月16日 第35回総会
会場/商工会館 会員数/213名

予算等
予算額 46,430千円
会費 2,870千円
県補助金 21,918千円
市町村補助金 4,800千円

役員
会長 松縄 賢午
副会長 石塚 賢 富村 静一

事務局員
池田 寿二 中島 良雄 小沼 芳子
内山 和市 梅沢 博美

できごと

- 11月12日 第1回産業まつり(三和西部工業団地内)に協賛
- さんわふるさとバック宅急便に協賛

その他のできごと

- ・国勢調査(三和村の人口6,452人)
- ・7.11豪雨により被害
- ・10月 三和村施行40周年記念式典

平成8年 (1996)

5月10日 第36回総会
会場/商工会館 会員数/214名

予算等
予算額 45,320千円
会費 2,920千円
県補助金 22,812千円
市町村補助金 4,700千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 雲田登美男

事務局員
池田 寿二 中島 良雄 小沼 芳子
宮本 悦子 内山 和市 梅沢 博美

できごと

- 広島市開催「全国さんわ、みわ町村ふる里まつり」に協賛

その他のできごと

- ・2月 上水道法花寺浄水場給水開始

平成9年 (1997)

5月16日 第37回総会
会場/商工会館 会員数/209名

予算等
予算額 46,240千円
会費 2,880千円
県補助金 22,371千円
市町村補助金 4,700千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 雲田登美男

事務局員
池田 寿二 中島 良雄 宮本 悦子
内山 和市 梅沢 博美

できごと

- 商工会独自のパソコン導入
- 婦人部バレーボール県大会出場

その他のできごと

- ・「ほくほく線」開業
- ・新「県立中央病院」完成

平成10年 (1998)

5月15日 第38回総会
会場/商工会館 会員数/209名

予算等
予算額 49,100千円
会費 2,880千円
県補助金 22,920千円
市町村補助金 5,050千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 雲田登美男

事務局員
池田 寿二 中島 良雄 宮本 悦子
内山 和市 梅沢 博美

できごと

- 記帳機械化事業優良商工会表彰受賞
- 地域振興券に合わせ独自の商品券抽選会の実施

その他のできごと

- ・9月 台風7号により米と酒の隠蔵ほか甚大な被害発生

平成11年 (1999)

5月14日 第39回総会
会場/商工会館 会員数/201名

予算等
予算額 46,530千円
会費 2,800千円
県補助金 23,189千円
市町村補助金 5,600千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 雲田登美男

事務局員
池田 寿二 中島 良雄 宮本 悦子
内山 和市 梅沢 博美

できごと

- 11月3日 第1回商工まつり

その他のできごと

- ・三和西部産業団地造成工事開始

平成12年 (2000)

5月19日 第40回総会
会場/商工会館 会員数/200名

予算等
予算額 46,250千円
会費 2,770千円
県補助金 22,841千円
市町村補助金 5,200千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 雲田登美男

事務局員
池田 寿二 中島 良雄 宮本 悦子
内山 和市 風間 陽子 梅沢 博美

できごと

- 婦人部から女性部に名称変更
- 9月24日 三和商工会設立40周年記念式典
- 三和村開催「全国さんわ、みわ町村ふる里まつり」に協賛

その他のできごと

- ・国勢調査(三和村の人口6,284人)
- ・4月 デイサービスセンター「すいせんの里」完成

平成13年 (2001)

5月18日 第41回総会
会場/商工会館 会員数/195名

予算等
予算額 43,620千円
会費 2,720千円
県補助金 21,272千円
市町村補助金 4,800千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 雲田登美男

事務局員
池田 寿二 中島 良雄 大口 俊美
宮本 悦子 風間 陽子 梅沢 博美

できごと

その他のできごと

- ・10月 三和中学校30周年記念式典
- ・10月 上杉小学校100周年記念式典

平成14年 (2002)

5月10日 第42回総会
会場/商工会館 会員数/199名

予算等
予算額 44,840千円
会費 2,730千円
県補助金 20,774千円
市町村補助金 4,800千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 雲田登美男

事務局員
宮田 義行 大口 俊美 宮本 悦子
風間 陽子 梅沢 博美

できごと

その他のできごと

- ・三和南部住宅団地(日和町)分譲開始
- ・市外局番が「025」に変更
- ・8月 特別養護老人ホーム「三和愛宕の園」開所

平成15年 (2003)

5月9日 第43回総会
会場/商工会館 会員数/196名

予算等
予算額 43,689千円
会費 2,730千円
県補助金 20,448千円
市町村補助金 4,900千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 横尾 勲

事務局員
宮田 義行 大口 俊美 宮本 悦子
風間 陽子 梅沢 博美

できごと

その他のできごと

- ・4月 さんわ保育園が開園
- ・5月 村内全域で下水道の供用開始
- ・三和ふれあいホール完成

平成16年 (2004)

5月12日 第44回総会
会場/商工会館 会員数/193名

予算等
予算額 43,318千円
会費 2,700千円
県補助金 19,809千円
市町村補助金 4,400千円

役員
会長 石塚 賢
副会長 富村 静一 横尾 勲

事務局員
宮田 義行 大口 俊美 宮本 悦子
風間 陽子 梅沢 博美

できごと

- ファイナル三和夏物語で流しそうめんイベント

その他のできごと

- ・4月 三和村ケーブルテレビ開局
- ・8月 さんわ祭り・大花火大会13年ぶり開催
- ・10月 中越地震発生
- ・12月 三和村閉村記念式典

平成17年 (2005)

5月10日 第45回総会
会場/商工会館 会員数/188名

予算等	予算額	41,549千円
	会費	2,660千円
	県補助金	19,431千円
	市町村補助金	4,400千円

役員	会長	石塚 賢
	副会長	富村 静一 横尾 勲

事務局員	宮田 義行 大口 俊美 宮本 悦子
	鳥越 貴子 梅沢 博美

できごと

- 5年ぶりに永年勤続優良従業員表彰式
- 石塚会長が黄綬褒章を受章

その他のできごと

- ・平成17年1月1日 新上越市誕生
- ・4月 市議会議員増員選挙執行
- ・6月 新潟県行政代執行
- 宮崎新田の不法放置されている産業廃棄物の除去作業開始
- ・国勢調査(三和区の人口6,190人)

平成18年 (2006)

5月10日 第46回総会
会場/商工会館 会員数/189名

予算等	予算額	41,512千円
	会費	2,680千円
	県補助金	19,170千円
	市町村補助金	4,400千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	横尾 勲 西山 薫

事務局員	宮田 義行 大口 俊美 宮本 悦子
	鳥越 貴子 梅沢 博美

できごと

- 三和商工会ホームページを作成し、情報発信等を展開

その他のできごと

- ・1月 大雪災害対策本部設置
- ・5月 13区の「現場でトーク」が三和区を皮切りにスタート

平成19年 (2007)

5月10日 第47回総会
会場/商工会館 会員数/179名

予算等	予算額	42,474千円
	会費	2,530千円
	県補助金	20,487千円
	市町村補助金	4,268千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	横尾 勲 西山 薫

事務局員	宮田 義行 大口 俊美 内山 和市
	宮本 悦子 梅沢 博美

できごと

- 上越南商工業振興協議会(中郷・板倉・清里・牧・三和商工会)設立

その他のできごと

- ・7月 中越沖地震発生 三和区震度6弱

平成20年 (2008)

5月13日 第48回総会
会場/商工会館 会員数/172名

予算等	予算額	42,743千円
	会費	2,458千円
	県補助金	20,927千円
	市町村補助金	4,132千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	横尾 勲 西山 薫

事務局員	宮田 義行 大口 俊美 内山 和市
	宮本 悦子 梅沢 博美 渡邊 祥代

できごと

- 建築部会・左官部会が創立50周年記念式典及び祝賀会を実施

その他のできごと

- ・4月 上越市自治基本条例施行
- ・大河ドラマ「天地人」に関する事業が展開

平成21年 (2009)

5月12日 第49回総会
会場/商工会館 会員数/163名

予算等	予算額	37,923千円
	会費	2,337千円
	県補助金	16,990千円
	市町村補助金	3,894千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	横尾 勲 西山 薫

事務局員	宮田 義行 柳澤 隆志 宮本 悦子
	梅沢 博美 渡邊 祥代

できごと

- 理事数を14人から12人に改正
- 総額1650万円プレミアム付(10%)商品券発行事業
- 商工会だより創刊(毎月1回発行)

その他のできごと

- ・大河ドラマ「天地人」に関する事業が展開
- ・トキめき新潟国体開催
- ・3月 里公・上杉・美守小学校児童が米作りの共同宣言書を市長に手渡す

平成22年 (2010)

5月13日 第50回総会
会場/商工会館 会員数/158名

予算等	予算額	36,592千円
	会費	2,284千円
	県補助金	17,127千円
	市町村補助金	3,833千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	横尾 勲 西山 薫

事務局員	宮田 義行	柳澤 隆志	宮本 悦子
	渡邊 祥代	青山未沙紀	

できごと

- 商工会法施行50周年記念新潟県商工会大会で「優良商工会県知事表彰」受賞
- 総額1150万円プレミアム付(15%)商品券発行事業

その他のできごと

- ・4月 三和コミュニティプラザオープン
- ・国勢調査(三和区の人口5,918人)
- ・大和上越店閉店
- ・旧長崎屋ビル閉館

平成23年 (2011)

5月12日 第51回総会
会場/商工会館 会員数/150名

予算等	予算額	36,469千円
	会費	2,145千円
	県補助金	17,792千円
	市町村補助金	3,679千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	横尾 勲 西山 薫

事務局員	宮田 義行	柳澤 隆志	丸山 明美
	渡邊 祥代	山崎 祐樹	

できごと

- 5部会(商業・工業・建築・板金・左官)から2部会(商業・工業)に部会再編を実施

その他のできごと

- ・1月 全市に大雪による災害救助法適用
- ・3月 東日本大地震発生(市内最大震度4)
- ・3月 長野県北部地震発生(市内最大震度5強)

平成24年 (2012)

5月10日 第52回総会
会場/商工会館 会員数/153名

予算等	予算額	37,328千円
	会費	2,151千円
	県補助金	18,332千円
	市町村補助金	4,054千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	西山 薫 保坂 昭五

事務局員	宮田 義行	柳澤 隆志	丸山 明美
	渡邊 祥代	山崎 祐樹	

できごと

- 総額1320万円プレミアム付(10%)商品券発行事業

その他のできごと

- ・3月 板倉区国川地内で大規模な地すべり発生

平成25年 (2013)

5月10日 第53回総会
会場/商工会館 会員数/155名

予算等	予算額	37,038千円
	会費	2,118千円
	県補助金	18,695千円
	市町村補助金	3,985千円

役員	会長	富村 静一
	副会長	西山 薫 保坂 昭五

事務局員	内藤 正徳	柳澤 隆志	丸山 明美
	渡邊 祥代	杉山 圭太	

できごと

- 上越南地区商工会共同事業「上越どんぶり巡り」を企画・実施
- 純粋な三和区のお土産を作るプロジェクトを立ち上げ
- 総額1350万円プレミアム付(12.5%)商品券発行事業

その他のできごと

- ・9月 台風18号に伴う大雨被害
- ・東京オリンピック誘致決定

平成26年 (2014)

5月14日 第54回総会
会場/商工会館 会員数/148名

予算等	予算額	36,567千円
	会費	2,067千円
	県補助金	18,338千円
	市町村補助金	4,149千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	保坂 昭五 宮崎 義和

事務局員	内藤 正徳	加藤 利弥	丸山 明美
	最賀真貴子	卜部 美紀	

できごと

- 上越南地区商工会共同事業「上越どんぶり巡り」スタンプラリー
- 純粋な三和区のお土産を作るプロジェクトにより製品化
- 総額1350万円プレミアム付(12.5%)商品券発行事業

その他のできごと

- ・7月 高田開府400年祭メインイベント

平成27年 (2015)

5月14日 第55回総会
会場/商工会館 会員数/144名

予算等	予算額	35,230千円
	会費	2,084千円
	県補助金	17,763千円
	市町村補助金	3,739千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	保坂 昭五 宮崎 義和

事務局員	内藤 正徳	加藤 利弥	小林千奈美
	最賀真貴子	卜部 美紀	

できごと

- 上越南地区商工会共同事業「お祭り巡りお店巡り事業」スタンプラリー
- 純粋な三和区のお土産を作るプロジェクトにより製品化PR事業
- 総額1725万円プレミアム付(15%)商品券発行事業

その他のできごと

- ・上越市合併10周年
- ・国勢調査(三和区の人口5,625人)
- ・3月 北陸新幹線の開業

平成28年 (2016)

5月12日 第56回総会
会場/商工会館 会員数/143名

予算等	予算額	35,300千円
	会費	2,068千円
	県補助金	18,570千円
	市町村補助金	3,317千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	保坂 昭五 西條 裕

事務局員	内藤 正徳	加藤 利弥	小林千奈美
	武藤 果歩	卜部 美紀	

できごと

- 三和西部工業団地内における観桜会の開催に向けた運営委員会の実施(9回)
- 商工会館北側外壁の大規模改修を施工

その他のできごと

- ・5月 国史跡水科古墳群指定40周年記念講演会

平成29年 (2017)

5月19日 第57回総会
会場/商工会館 会員数/137名

予算等	予算額	35,154千円
	会費	2,012千円
	県補助金	18,265千円
	市町村補助金	3,673千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	保坂 昭五 西條 裕

事務局員	内藤 正徳	加藤 利弥	小林千奈美
	武藤 果歩	卜部 美紀	

できごと

- さんわ桜の陣2017(2日間)初開催

その他のできごと

- ・8月 宮崎新田市有地の残置産業廃棄物の撤去作業開始
- ・9月 市民交流施設高田公園オーレンプラザ開館
- ・10月 上越市クリーンセンター開所

平成30年 (2018)

5月18日 第58回総会
会場/商工会館 会員数/132名

予算等	予算額	36,220千円
	会費	1,974千円
	県補助金	19,290千円
	市町村補助金	3,800千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	荻野 尚 細山 剛

事務局員	内藤 正徳	加藤 利弥	小林千奈美
	北澤真寿美	卜部 美紀	

できごと

- さんわ桜の陣2018
- 会員の減少に伴い、役員(理事)定数を12人から10人に改正
- 上越南地区商工会が申請した経営発達支援計画が認定

その他のできごと

- ・6月 市立水族博物館「うみがたり」オープン
- ・9月 宮崎新田 産業廃棄物の撤去作業終了

令和元年 (2019)

5月17日 第59回総会
会場/商工会館 会員数/129名

予算等	予算額	37,200千円
	会費	1,882千円
	県補助金	19,765千円
	市町村補助金	3,613千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	荻野 尚 細山 剛

事務局員	高橋 和則	加藤 利弥	小林千奈美
	北澤真寿美	卜部 美紀	

できごと

- 11月に5商工会による広域連携事業がスタート
- さんわ桜の陣2019
- 自主財源確保のため、手数料・使用料の見直し

その他のできごと

- ・3月 上越三和道路(寺IC~鶴町IC間)開通
- ・5月 「平成」から「令和」に改元
- ・10月 消費税が10%に引き上げ

令和2年 (2020)

5月15日 第60回総会
会場/書面議決 会員数/127名

予算等	予算額	34,800千円
	会費	1,853千円
	県補助金	17,715千円
	市町村補助金	3,267千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	荻野 尚 細山 剛

事務局員	高橋 和則	小島 弘誓	小林千奈美
	北澤真寿美	卜部 美紀	

できごと

- 初の通常総会書面開催 ●商工会費一律50%減免
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、さんわ桜の陣2020中止
- 総額3900万円(30%)プレミアム付商品券発行事業
- ALLさんわ事業者応援キャンペーン ●5商工会による合併検討会議開催

その他のできごと

- ・4月 市内で新型コロナウイルス感染症患者が確認
- ・7月 米と酒の謎蔵、味の謎蔵廃止
- ・国勢調査(三和区の人口5,218人)

令和3年 (2021)

5月21日 第61回総会
会場/地区公民館 会員数/129名

予算等	予算額	38,521千円
	会費	1,870千円
	県補助金	17,506千円
	市町村補助金	4,439千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	細山 剛 秋山 春夫

事務局員	高橋 和則	藤縄美栄子	北澤真寿美
	村越 美雪	卜部 美紀	

できごと

- 商工会費一律50%減免
- さんわ桜の陣
(GOTOさんわ桜めぐりキャンペーン、さんわの桜フォトコンテスト)
- 総額5200万円プレミアム付(30%)商品券発行事業
- ALLさんわ事業者応援キャンペーン ●5商工会による合併検討会議開催

その他のできごと

- ・上越市市制50周年 ・1月 24時間降雪量103cmの異常降雪
- ・市全域に災害救助法適用 ・新型コロナワクチン個別及び集団接種開始

令和4年 (2022)

5月20日 第62回総会
会場/地区公民館 会員数/131名

予算等	予算額	38,057千円
	会費	1,940千円
	県補助金	18,416千円
	市町村補助金	3,481千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	細山 剛 秋山 春夫

事務局員	高橋 和則	藤縄美栄子	北澤真寿美
	村越 美雪	卜部 美紀	

できごと

- さんわ桜の陣(GOTOさんわ桜めぐりキャンペーン、さんわの桜フォトコンテスト、桜川柳コンテスト2022)
- ALLさんわ事業所応援キャンペーン
- 総額5415万円プレミアム付(30%)商品券発行事業
- 年末年始スペシャル感謝祭 ●上越南地区商工会合併検討協議会設立

その他のできごと

- ・新型コロナウイルス感染症拡大
- ・8月 1日当たりの市内感染者数522人と過去最多更新
- ・9月 ホテル米本陣廃止

令和5年 (2023)

5月19日 第63回総会
会場/地区公民館 会員数/134名

予算等	予算額	39,491千円
	会費	1,970千円
	県補助金	18,546千円
	市町村補助金	3,575千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	細山 剛 秋山 春夫

事務局員	高橋 和則	藤縄美栄子	北澤真寿美
	村越 美雪	卜部 美紀	

できごと

- 4年振りのさんわ桜の陣2023
- ALLさんわ事業所応援キャンペーン
- 総額2400万円プレミアム付(20%)商品券発行等事業
- 賞金総額100万円の年末感謝祭
- インボイス制度開始

その他のできごと

- ・5月 新型コロナウイルス感染症が5類に移行
- ・猛暑が続きコメの上位等級が大幅に低下

令和6年 (2024)

5月17日 第64回総会
会場/地区公民館 会員数/136名

予算等	予算額	37,690千円
	会費	1,900千円
	県補助金	17,098千円
	市町村補助金	3,350千円

役員	会長	西山 薫
	副会長	細山 剛 秋山 春夫

事務局員	飯田 利也	北澤真寿美
	村越 美雪	卜部 美紀

できごと

- さんわ桜の陣2024
- 総額2400万円プレミアム付(20%)商品券発行事業
- 賞金総額100万円の年末感謝祭
- 上越南地区商工会合併推進協議会設立

その他のできごと

- ・1月 能登半島地震 市内震度5強
- ・3月 市議会において3校を統合し上越市立三和小学校としてR7.4.1に開校決定

歴代顧問・会長・副会長・理事・監事名簿

年 度	顧 問	会 長	副会長	副会長	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事
昭和35年度		室 健治	宮崎 泰三	野崎 録夫	山本 初治	宮崎 政治	沢田 松治	高倉 正敏	青木 實	笹川 留晴	保坂 重俊	佐藤 外治
昭和36年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	雲田 軍治	山本 初治	小林 雄治	梅山 喜作	保坂 重俊	笹川 留晴	上野順三郎	高沢 直一	斉藤 進
昭和37年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	雲田 軍治	山本 初治	小林 雄治	梅山 喜作	保坂 重俊	笹川 留晴	上野順三郎	高沢 直一	斉藤 進
昭和38年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	高沢 直一	山本 初治	笹川 留晴	荻井 安一	梅山 喜作	米山金一郎	高橋 栄一	宮澤 誠一	石塚 賢
昭和39年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	高沢 直一	山本 初治	笹川 留晴	荻井 安一	梅山 喜作	米山金一郎	高橋 栄一	宮澤 誠一	石塚 賢
昭和40年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	高沢 直一	山本 初治	梅山 喜作	荻井 安一	高橋 栄一	横山 貞治	宮澤 誠一	石塚 賢	内山市次郎
昭和41年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	高沢 直一	山本 初治	梅山 喜作	荻井 安一	高橋 栄一	横山 貞治	宮澤 誠一	石塚 賢	内山市次郎
昭和42年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	上野順三郎	内山市次郎	木原 忠楠	石塚 賢	沢田 秀美	斉藤 進	丸山 正則	雲田 軍治	高沢 直一
昭和43年度		宮崎 泰三	野崎 録夫	上野順三郎	内山市次郎	木原 忠楠	石塚 賢	沢田 秀美	斉藤 進	丸山 正則	雲田 軍治	高沢 直一
昭和44年度		野崎 録夫	上野順三郎	渡辺 貞雄	内山市次郎	木原 忠楠	石塚 賢	沢田 秀美	斉藤 進	丸山 正則	雲田 軍治	高沢 直一
昭和45年度		野崎 録夫	上野順三郎	渡辺 貞雄	内山市次郎	木原 忠楠	石塚 賢	沢田 秀美	斉藤 進	丸山 正則	雲田 軍治	高沢 直一
昭和46年度		野崎 録夫	上野順三郎	渡辺 貞雄	高沢 直一	三浦 清蔵	斉藤 進	松縄 賢午	藤沢 亨	内山市次郎	木原 忠楠	石塚 賢
昭和47年度		野崎 録夫	上野順三郎	渡辺 貞雄	高沢 直一	松縄 賢午	藤沢 亨	内山市次郎	木原 忠楠	石塚 賢	沢田 秀美	荻野 昭二
昭和48年度		野崎 録夫	上野順三郎	渡辺 貞雄	高橋 栄一	笹川 敏夫	内山 勇	宮沢 忠司	西條 弘	丸山 文治	植木 俊三	松縄 賢午
昭和49年度		野崎 録夫	上野順三郎	渡辺 貞雄	高橋 栄一	笹川 敏夫	内山 勇	宮沢 忠司	西條 弘	丸山 文治	植木 俊三	松縄 賢午
昭和50年度		野崎 録夫	渡辺 貞雄	松縄 賢午	高橋 栄一	宮沢 忠司	笹川 敏夫	赤井篤治郎	藤沢 亨	丸山 文治	西條 弘	成田 辰造
昭和51年度		野崎 録夫	渡辺 貞雄	松縄 賢午	高橋 栄一	宮沢 忠司	笹川 敏夫	赤井篤治郎	藤沢 亨	丸山 文治	西條 弘	成田 辰造
昭和52年度		野崎 録夫	渡辺 貞雄	松縄 賢午	高橋 栄一	赤井篤治郎	笹川 敏夫	成田 辰造	丸山 文治	西條 弘	池田 寿二	木原 忠楠
昭和53年度		野崎 録夫	松縄 賢午	赤井篤治郎	高橋 栄一	笹川 敏夫	成田 辰造	丸山 文治	西條 弘	池田 寿二	木原 忠楠	石塚 賢
昭和54年度		野崎 録夫	松縄 賢午	赤井篤治郎	高橋 栄一	笹川 敏夫	荻野 昭二	池田 寿二	清水 昇一	西條 弘	丸山 文治	成田 辰造
昭和55年度		野崎 録夫	松縄 賢午	赤井篤治郎	高橋 栄一	笹川 敏夫	荻野 昭二	池田 寿二	清水 昇一	西條 弘	丸山 文治	成田 辰造
昭和56年度		野崎 録夫	松縄 賢午	赤井篤治郎	高橋 栄一	笹川 敏夫	池田 寿二	内山 勇	清水 昇一	西條 弘	高沢 憲一	上田 清一
昭和57年度		野崎 録夫	松縄 賢午	高橋 栄一	飯田 清和	笹川 敏夫	池田 寿二	内山 勇	清水 昇一	西條 弘	高沢 憲一	上田 清一
昭和58年度		野崎 録夫	松縄 賢午	高橋 栄一	飯田 清和	笹川 敏夫	池田 寿二	内山 勇	清水 昇一	西條 弘	高沢 憲一	上田 清一
昭和59年度		野崎 録夫	松縄 賢午	高橋 栄一	石塚 賢	伊藤 道雄	小池 利雄	上田 清一	秋山 正	上田良太郎	西條 弘	飯田 清和
昭和60年度		野崎 録夫	松縄 賢午		石塚 賢	伊藤 道雄	小池 利雄	山本 熊蔵	秋山 正	上田良太郎	西條 弘	飯田 清和
昭和61年度		野崎 録夫	松縄 賢午	池田 寿二	石塚 賢	伊藤 道雄	小池 利雄	山本 熊蔵	秋山 正	上田良太郎	西條 弘	飯田 清和
昭和62年度		松縄 賢午	池田 寿二	石塚 賢	内山 勇	飯田 清和	金井 正利	上田良太郎	西條 弘	小池 利雄	伊藤 道雄	高倉 三治
昭和63年度		松縄 賢午	池田 寿二	石塚 賢	内山 勇	飯田 清和	金井 正利	上田良太郎	西條 弘	小池 利雄	伊藤 道雄	高倉 三治
平成元年度		松縄 賢午	池田 寿二	石塚 賢	内山 勇	飯田 清和	金井 正利	上田良太郎	西條 弘	小池 利雄	伊藤 道雄	高倉 三治
平成2年度		松縄 賢午	池田 寿二	石塚 賢	竹内 定義	山川 辰夫	小池 利雄	伊藤 道雄	西條 弘	丸山 文治	飯田 清和	金井 正利
平成3年度		松縄 賢午	池田 寿二	石塚 賢	竹内 定義	山川 辰夫	小池 利雄	伊藤 道雄	西條 弘	丸山 文治	飯田 清和	金井 正利
平成4年度		松縄 賢午	池田 寿二	石塚 賢	竹内 定義	山川 辰夫	小池 利雄	伊藤 道雄	西條 弘	丸山 文治	飯田 清和	金井 正利

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監事	監事
上野順三郎	齊藤 進	高沢 直一	中条国太郎	内山市次郎	伊藤 一	宮沢清治郎	宮沢 龍司	竹田 竹治	石塚 賢			荻井 安一	桑原 直治
横山 昭信	荻井 安一	中条国太郎	横山 貞治	内山市次郎	伊藤 一	宮沢清治郎	宮沢 龍司	竹田 竹治	石塚 賢	渡辺 幸三	桑原 直治	高倉 正敏	
横山 昭信	荻井 安一	中条国太郎	横山 貞治	内山市次郎	池田重太郎	宮沢清治郎	宮沢 龍司	竹田 竹治	石塚 賢	渡辺 幸三	桑原 直治	高倉 正敏	
石黒 清	池田重太郎	内山市次郎	竹田 竹治	荒井 正造	桑原 直治	松縄 賢午	遠藤 文雄	上野順三郎	保坂 重俊	渡辺 幸三	高倉 正敏	横山 昭信	
石黒 清	池田重太郎	内山市次郎	竹田 竹治	荒井 正造	桑原 直治	松縄 賢午	遠藤 文雄	上野順三郎	保坂 重俊	涌井 芳男	高倉 正敏	横山 昭信	
石黒 清	池田重太郎	竹田 竹治	水沢 省吾	横山 昭信	上野順三郎	齊藤 進	成田 辰造	丸山 正則	笹川 敏夫	涌井 芳男	高倉 正敏	三浦 清蔵	
石黒 清	池田重太郎	竹田 竹治	水沢 省吾	横山 昭信	上野順三郎	齊藤 進	成田 辰造	丸山 正則	笹川 敏夫	涌井 芳男	高倉 正敏	三浦 清蔵	
山本 初治	高橋 栄一	梅山 喜作	笹川 敏夫	宮崎 知義	池田重太郎	水沢 省吾	横山 昭信	松縄 賢午	赤井篤治郎	涌井 芳男	三浦 清蔵	竹田 竹治	
山本 初治	高橋 栄一	梅山 喜作	笹川 敏夫	宮崎 知義	池田重太郎	水沢 省吾	横山 昭信	松縄 賢午	赤井篤治郎	涌井 芳男	三浦 清蔵	竹田 竹治	
三浦 清蔵	高橋 栄一	梅山 喜作	赤井篤治郎	飯田 清和						涌井 芳男	笹川 敏夫	竹田 竹治	
三浦 清蔵	高橋 栄一	梅山 喜作	赤井篤治郎	飯田 清和						涌井 芳男	笹川 敏夫	竹田 竹治	
沢田 秀美	荻野 昭二	小林 正二	宮沢 忠司	高橋 栄一						涌井 芳男	竹田 竹治	飯田 清和	
小林 正二	宮沢 忠司	高橋 栄一	植木 俊三	丸山 文治						涌井 芳男	竹田 竹治	飯田 清和	
藤沢 亨	木原 忠楯	石塚 賢	沢田 秀美	内山市次郎						涌井 芳男	飯田 清和	宮沢 竜司	
藤沢 亨	木原 忠楯	石塚 賢	沢田 秀美	内山市次郎						涌井 芳男	飯田 清和	宮沢 竜司	
木原 忠楯	内山市次郎	石塚 賢	沢田 秀美	宮沢 竜司						涌井 芳男	飯田 清和	雲田登美男	
木原 忠楯	内山市次郎	石塚 賢	沢田 秀美	宮沢 竜司						涌井 芳男	飯田 清和	雲田登美男	
石塚 賢	宮沢 竜司	沢田 秀美	藤沢 亨	宮沢 忠司						田下 哲二	雲田登美男	内山市次郎	
宮沢 竜司	沢田 秀美	藤沢 亨	宮沢 忠司	荻野 昭二						田下 哲二	雲田登美男	内山市次郎	
高沢 憲一	木原 忠楯	沢田 秀美	石塚 賢	宮沢 忠司						田下 哲二	雲田登美男	伊藤 道雄	
高沢 憲一	木原 忠楯	沢田 秀美	石塚 賢	宮沢 忠司						田下 哲二	雲田登美男	伊藤 道雄	
中野 信治	石塚 賢	沢田 秀美	宮沢 竜司	伊藤 道雄	宮崎マツ子						雲田登美男	山崎 太七	
中野 信治	石塚 賢	沢田 秀美	宮沢 竜司	伊藤 道雄	丸山 清子						雲田登美男	山崎 太七	
中野 信治	石塚 賢	沢田 秀美	宮沢 竜司	伊藤 道雄	丸山 清子						雲田登美男	山崎 太七	
内山 勇	池田 寿二	笹川 敏夫	沢田 秀美	高橋 敬作	石塚 敏子						丸山 文治	富村 静一	
内山 勇	池田 寿二	笹川 敏夫	沢田 秀美	高橋 敬作	石塚 敏子						丸山 文治	富村 静一	
内山 勇	金井 正利	笹川 敏夫	沢田 秀美	高橋 敬作	石塚 敏子						丸山 文治	富村 静一	
丸山 文治	清水 昇一	山川 辰夫	竹内 定義	保坂 昭五	宮崎マツ子						富村 静一	前田 正勝	
丸山 文治	清水 昇一	山川 辰夫	竹内 定義	保坂 昭五	宮崎マツ子						富村 静一	前田 正勝	
丸山 文治	清水 昇一	山川 辰夫	竹内 定義	保坂 昭五	宮崎マツ子						富村 静一	前田 正勝	
富村 静一	高橋 栄	服部 昭午	秋山 正	雲田登美男	宮崎マツ子						上田良太郎	保坂 昭五	
富村 静一	高橋 栄	服部 昭午	秋山 正	雲田登美男	宮崎マツ子						上田良太郎	保坂 昭五	
富村 静一	高橋 栄	服部 昭午	秋山 正	雲田登美男	宮崎マツ子						上田良太郎	保坂 昭五	

年 度	顧 問	会 長	副会長	副会長	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事
平成5年度		松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	西條 弘	荻野 尚	秋山 正	横山 健司	古市 正栄	服部 昭午	雲田登美男	植木 俊三
平成6年度		松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	西條 弘	荻野 尚	秋山 正	横山 健司	古市 正栄	服部 昭午	雲田登美男	植木 俊三
平成7年度		松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	西條 弘	細山 剛	秋山 正	横山 健司	古市 正栄	服部 昭午	雲田登美男	植木 俊三
平成8年度	松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	雲田登美男	秋山 正	高橋 敬作	遠藤 隆夫	丸山 政一	飯田 清和	横山 健司	横尾 勲	細山 剛
平成9年度	松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	雲田登美男	秋山 正	高橋 敬作	遠藤 隆夫	丸山 政一	飯田 清和	横山 健司	横尾 勲	飯田 清人
平成10年度	松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	雲田登美男	秋山 正	高橋 敬作	遠藤 隆夫	丸山 政一	飯田 清和	横山 健司	横尾 勲	飯田 清人
平成11年度	松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	雲田登美男	横山 健司	古市 正栄	阿部 勝身	横尾 勲	丸山 政一	南雲 勇	南波 栄一	野崎 耕策
平成12年度	松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	雲田登美男	横山 健司	古市 正栄	阿部 勝身	横尾 勲	丸山 政一	南雲 勇	南波 栄一	野崎 耕策
平成13年度	松縄 賢午	石塚 賢	富村 静一	雲田登美男	横山 健司	古市 正栄	阿部 勝身	横尾 勲	丸山 政一	南雲 勇	南波 栄一	野崎 耕策
平成14年度		石塚 賢	富村 静一	雲田登美男	横山 健司	南雲 勇	保坂 昭五	南波 栄一	横尾 勲	丸山 政一	高橋 敬作	古市 正栄
平成15年度		石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	横山 健司	保坂 昭五	高橋 敬作	飯田 要	西山 薫	澤田 健一	山本 和夫	池田 実
平成16年度		石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	横山 健司	保坂 昭五	高橋 敬作	飯田 要	西山 薫	澤田 健一	山本 和夫	池田 実
平成17年度		石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	横山 健司	保坂 昭五	高橋 敬作	飯田 要	西山 薫	高橋 栄	山本 和夫	池田 実
平成18年度	石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	西山 薫	横山 健司	赤井 義和	高橋 栄	池田 実	保坂 昭五	飯田 要	中野 雅晴	山本 和夫
平成19年度	石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	西山 薫	横山 健司	赤井 義和	高橋 栄	池田 実	保坂 昭五	飯田 要	中野 雅晴	山本 和夫
平成20年度	石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	西山 薫	横山 健司	赤井 義和	高橋 栄	池田 実	保坂 昭五	飯田 要	中野 雅晴	山本 和夫
平成21年度	石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	西山 薫	横山 健司	保坂 昭五	清水 謙	宮崎 義和	西條 裕	金井 範廣	近藤 輝男	中村 和行
平成22年度	石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	西山 薫	横山 健司	保坂 昭五	清水 謙	宮崎 義和	西條 裕	金井 範廣	近藤 輝男	中村 和行
平成23年度	石塚 賢	富村 静一	横尾 勲	西山 薫	横山 健司	保坂 昭五	清水 謙	宮崎 義和	西條 裕	金井 範廣	近藤 輝男	中村 和行
平成24年度		富村 静一	西山 薫	保坂 昭五	西條 裕	高倉 輝夫	近藤 輝男	中村 和行	宮崎 義和	荻野 尚	梨本 一郎	青木 稔雄
平成25年度		富村 静一	西山 薫	保坂 昭五	西條 裕	高倉 輝夫	近藤 輝男	中村 和行	宮崎 義和	荻野 尚	梨本 一郎	青木 稔雄
平成26年度		西山 薫	保坂 昭五	宮崎 義和	西條 裕	高倉 輝夫	近藤 輝男	中村 和行	佐々木正浩	荻野 尚	梨本 一郎	青木 稔雄
平成27年度	富村 静一	西山 薫	保坂 昭五	西條 裕	佐々木正浩	丸山 敬	荻野 尚	坪野 敏雄	高倉 輝夫	梨本 一郎	青木 稔雄	小松 芳夫
平成28年度	富村 静一	西山 薫	保坂 昭五	西條 裕	佐々木正浩	丸山 敬	荻野 尚	坪野 敏雄	高倉 輝夫	梨本 一郎	青木 稔雄	小松 芳夫
平成29年度	富村 静一	西山 薫	保坂 昭五	西條 裕	佐々木正浩	丸山 敬	荻野 尚	坪野 敏雄	高倉 輝夫	梨本 一郎	青木 稔雄	小松 芳夫
平成30年度		西山 薫	荻野 尚	細山 剛	坪野 敏雄	梨本 一郎	板倉 修一	丸山 敬	小松 芳夫	米山 均	岩澤 秀明	青木 光達
令和元年度		西山 薫	荻野 尚	細山 剛	坪野 敏雄	梨本 一郎	板倉 修一	丸山 敬	小松 芳夫	米山 均	岩澤 秀明	青木 光達
令和2年度	宮崎 朋子	西山 薫	荻野 尚	細山 剛	坪野 敏雄	梨本 一郎	板倉 修一	丸山 敬	小松 芳夫	米山 均	岩澤 秀明	青木 光達
令和3年度	宮崎 朋子	西山 薫	細山 剛	秋山 春夫	梨本 一郎	丸山 敬	米山 均	青木 光達	岩澤 秀明	青木 稔雄	稲垣 潔	西條 敏文
令和4年度	宮崎 朋子	西山 薫	細山 剛	秋山 春夫	梨本 一郎	丸山 敬	米山 均	青木 光達	岩澤 秀明	青木 稔雄	稲垣 潔	西條 敏文
令和5年度	宮崎 朋子	西山 薫	細山 剛	秋山 春夫	梨本 一郎	丸山 敬	米山 均	青木 光達	岩澤 秀明	青木 稔雄	稲垣 潔	西條 敏文
令和6年度	宮崎 朋子	西山 薫	細山 剛	秋山 春夫	梨本 一郎	丸山 敬	杉浦 陽一	青木 光達	岩澤 秀明	青木 稔雄	稲垣 潔	西條 敏文

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監事	監事
南雲 勇	飯田 清和	小池 利雄	米山 勝次	山川 辰夫	野崎 輝子						上田良太郎	保坂 昭五
南雲 勇	飯田 清和	小池 利雄	米山 勝次	山川 辰夫	野崎 輝子						上田良太郎	保坂 昭五
南雲 勇	飯田 清和	小池 利雄	米山 勝次	山川 辰夫	野崎 輝子						上田良太郎	保坂 昭五
小池 利雄	山川 辰夫	保坂 昭五	南波 栄一	南雲 勇	野崎 輝子						上田良太郎	高館 勇
小池 利雄	山川 辰夫	保坂 昭五	南波 栄一	南雲 勇	野崎 輝子						上田良太郎	高館 勇
小池 利雄	山川 辰夫	保坂 昭五	南波 栄一	南雲 勇	野崎 輝子						上田良太郎	高館 勇
保坂 昭五	高橋 敬作	飯田 要	西山 薫	飯田 清人	中条 玲子						高館 勇	澤田 健一
保坂 昭五	高橋 敬作	飯田 要	西山 薫	飯田 清人	中条 玲子						高館 勇	澤田 健一
保坂 昭五	高橋 敬作	飯田 要	西山 薫	丸山 敬	中条 玲子						高館 勇	澤田 健一
野崎 耕策	阿部 勝身	飯田 要	西山 薫	丸山 敬	中条 玲子						高館 勇	澤田 健一
中野 雅晴	宮崎 義和	清水 謙	西條 裕	大滝 義文	小林 富子						遠藤 隆夫	木原 忠和
中野 雅晴	宮崎 義和	清水 謙	西條 裕	大滝 義文	小林 富子						遠藤 隆夫	木原 忠和
中野 雅晴	宮崎 義和	清水 謙	西條 裕	三浦 文治	小林 富子						遠藤 隆夫	木原 忠和
宮崎 義和	清水 謙	西條 裕	袋 昭悟	三浦 文治	小林 富子						木原 忠和	丸山 敬
宮崎 義和	清水 謙	西條 裕	袋 昭悟	南波 一裕	小林 富子						木原 忠和	丸山 敬
宮崎 義和	清水 謙	西條 裕	袋 昭悟	南波 一裕	小林 富子						木原 忠和	丸山 敬
宮沢 清	荻野 尚			古市 竜也	丸山 正枝						木原 忠和	秋山 春夫
宮沢 清	荻野 尚			古市 竜也	丸山 正枝						木原 忠和	秋山 春夫
宮沢 清	荻野 尚			高橋 浩志	丸山 正枝						木原 忠和	秋山 春夫
澤田 義昭	坪野 敏雄			高橋 浩志	小島由美子						秋山 春夫	細山 剛
澤田 義昭	坪野 敏雄			高橋 浩志	小島由美子						秋山 春夫	細山 剛
澤田 義昭	坪野 敏雄			高橋 浩志	小島由美子						秋山 春夫	細山 剛
小山田 晃	板倉 修一			宮崎 文徳	三浦 直美						秋山 春夫	細山 剛
小山田 晃	板倉 修一			宮崎 文徳	三浦 直美						秋山 春夫	細山 剛
小山田 晃	板倉 修一			宮崎 文徳	三浦 直美						秋山 春夫	細山 剛
				宮崎 文徳	青木 朝子						三浦 文治	高館 学
				澤田 淳平	青木 朝子						三浦 文治	高館 学
				澤田 淳平	青木 朝子						三浦 文治	高館 学
				澤田 淳平	雲田 裕美						三浦 文治	高館 学
				澤田 淳平	雲田 裕美						三浦 文治	高館 学
				西條 司	雲田 裕美						三浦 文治	高館 学
				西條 司	雲田 裕美						三浦 文治	高館 学

歴代部会長名簿

年 度	商業部会	工業部会	建築部会	板金部会	左官部会	総務部会	金融部会	青申部会
昭和43年度	笹川 敏夫	植木 正一	高橋 栄一	金井 正利	加藤千代吉	石黒 清	渡辺 貞雄	梅山 喜作
昭和44年度	横山 昭信	藤沢 亨	高橋 栄一	金井 正利	加藤千代吉	内山市次郎	渡辺 貞雄	梅山 喜作
昭和45年度	横山 昭信	藤沢 亨	高橋 栄一	金井 正利	加藤千代吉	内山市次郎	渡辺 貞雄	上野順三郎
昭和46年度	横山 昭信	藤沢 亨	高橋 栄一	金井 正利	加藤千代吉	内山市次郎	渡辺 貞雄	上田良太郎
昭和47年度	横山 昭信	藤沢 亨	高橋 栄一	金井 正利	加藤千代吉	内山市次郎	渡辺 貞雄	上田良太郎
昭和48年度	赤井篤治郎	藤沢 亨	高橋 栄一	金井 正利	丸山 政一	上野順三郎	渡辺 貞雄	上田良太郎
昭和49年度	赤井篤治郎	藤沢 亨	高橋 栄一	金井 正利	丸山 政一	上野順三郎	渡辺 貞雄	上田良太郎
昭和50年度	赤井篤治郎	藤沢 亨	丸山 正義	金井 正利	加藤千代吉	松縄 賢午	渡辺 貞雄	上田良太郎
昭和51年度	赤井篤治郎	藤沢 亨	丸山 正義	金井 正利	加藤千代吉	松縄 賢午	渡辺 貞雄	上田良太郎
昭和52年度	赤井篤治郎	藤沢 亨	成田 辰造	金井 正利	加藤千代吉	松縄 賢午		上田良太郎
昭和53年度	赤井篤治郎	藤沢 亨	成田 辰造	金井 正利	加藤千代吉	松縄 賢午		上田良太郎
昭和54年度	赤井篤治郎	山本 熊蔵	成田 辰造	金井 正利	江口 松治	松縄 賢午		上田良太郎
昭和55年度	赤井篤治郎	山本 熊蔵	成田 辰造	金井 正利	江口 松治	松縄 賢午		上田良太郎
昭和56年度	横山 昭信	山本 熊蔵	内山 勇	金井 正利	伊藤袈裟尾			
昭和57年度	横山 昭信	山本 熊蔵	内山 勇	金井 正利	野崎 正春			
昭和58年度	横山 昭信	山本 熊蔵	内山 勇	金井 正利	欠 員			
昭和59年度	横山 昭信	山本 熊蔵	内山 勇	金井 正利	富村 静一			
昭和60年度	石塚 賢	山本 熊蔵	内山 勇	金井 正利	富村 静一			
昭和61年度	石塚 賢	山本 熊蔵	内山 勇	金井 正利	富村 静一			
昭和62年度	石塚 賢	山本 熊蔵	内山 勇	金井 正利	近藤 勝雄			
昭和63年度	石塚 賢	山本 熊蔵	秋山 正	金井 正利	近藤 勝雄			
平成元年度	石塚 賢	山本 熊蔵	秋山 正	金井 正利	近藤 勝雄			
平成2年度	石塚 賢	服部 昭午	秋山 正	金井 正利	富村 静一			
平成3年度	石塚 賢	服部 昭午	秋山 正	金井 正利	富村 静一			
平成4年度	石塚 賢	服部 昭午	秋山 正	南雲 勇	富村 静一			
平成5年度	植木 俊三	米山 勝次	秋山 正	南雲 勇	富村 静一			
平成6年度	植木 俊三	米山 勝次	南波 栄一	南雲 勇	丸山 政一			
平成7年度	植木 俊三	米山 勝次	南波 栄一	南雲 勇	丸山 政一			
平成8年度	小池 利雄	横尾 勲	南波 栄一	南雲 勇	丸山 政一			
平成9年度	小池 利雄	横尾 勲	南波 栄一	古市 正栄	丸山 政一			
平成10年度	小池 利雄	横尾 勲	南波 栄一	古市 正栄	丸山 政一			
平成11年度	雲田登美男	横尾 勲	阿部 勝身	古市 正栄	横山 健司			
平成12年度	雲田登美男	横尾 勲	阿部 勝身	古市 正栄	横山 健司			
平成13年度	雲田登美男	横尾 勲	阿部 勝身	古市 正栄	横山 健司			
平成14年度	雲田登美男	横尾 勲	阿部 勝身	古市 正栄	横山 健司			
平成15年度	山本 和夫	横尾 勲	澤田 健一	池田 実	横山 健司			

年 度	商業部会	工業部会	建築部会	板金部会	左官部会	総務部会	金融部会	青申部会
平成16年度	山本 和夫	横尾 勲	高橋 栄	池田 実	横山 健司			
平成17年度	山本 和夫	横尾 勲	高橋 栄	池田 実	横山 健司			
平成18年度	赤井 義和	西山 薫	保坂 昭五	池田 実	近藤 輝男			
平成19年度	赤井 義和	西山 薫	保坂 昭五	池田 実	近藤 輝男			
平成20年度	赤井 義和	西山 薫	保坂 昭五	中村 和行	近藤 輝男			
平成21年度	清水 謙	金井 範廣	保坂 昭五	中村 和行	近藤 輝男			
平成22年度	清水 謙	金井 範廣	保坂 昭五	中村 和行	近藤 輝男			
平成23年度	清水 謙	金井 範廣						
平成24年度	西條 裕	高倉 輝夫						
平成25年度	西條 裕	高倉 輝夫						
平成26年度	西條 裕	高倉 輝夫						
平成27年度	梨本 一郎	高倉 輝夫						
平成28年度	梨本 一郎	高倉 輝夫						
平成29年度	梨本 一郎	高倉 輝夫						
平成30年度	細山 剛	板倉 修一						
令和元年度	細山 剛	板倉 修一						
令和2年度	細山 剛	板倉 修一						
令和3年度	青木 稔雄	米山 均						
令和4年度	青木 稔雄	米山 均						
令和5年度	青木 稔雄	米山 均						
令和6年度	青木 光達	稲垣 潔						

歴代青年部 部長名簿

年 度	青年部長	年 度	青年部長
昭和44年度	飯田 清和	平成9年度	飯田 清人
昭和45年度	飯田 清和	平成10年度	飯田 清人
昭和46年度	飯田 清和	平成11年度	飯田 清人
昭和47年度	石塚 賢	平成12年度	飯田 清人
昭和48年度	石塚 賢	平成13年度	丸山 敬
昭和49年度	石塚 賢	平成14年度	丸山 敬
昭和50年度	石塚 賢	平成15年度	大滝 義文
昭和51年度	石塚 賢	平成16年度	大滝 義文
昭和52年度	池田 寿二	平成17年度	三浦 文治
昭和53年度	池田 寿二	平成18年度	三浦 文治
昭和54年度	野崎 耕策	平成19年度	南波 一裕
昭和55年度	野崎 耕策	平成20年度	南波 一裕
昭和56年度	高沢 憲一	平成21年度	古市 竜也
昭和57年度	高沢 憲一	平成22年度	古市 竜也
昭和58年度	高沢 憲一	平成23年度	高橋 浩志
昭和59年度	高橋 敬作	平成24年度	高橋 浩志
昭和60年度	高橋 敬作	平成25年度	高橋 浩志
昭和61年度	高橋 敬作	平成26年度	高橋 浩志
昭和62年度	保坂 昭五	平成27年度	宮崎 文徳
昭和63年度	保坂 昭五	平成28年度	宮崎 文徳
平成元年度	保坂 昭五	平成29年度	宮崎 文徳
平成2年度	高橋 栄	平成30年度	宮崎 文徳
平成3年度	高橋 栄	令和元年度	澤田 淳平
平成4年度	高橋 栄	令和2年度	澤田 淳平
平成5年度	荻野 尚	令和3年度	澤田 淳平
平成6年度	荻野 尚	令和4年度	澤田 淳平
平成7年度	細山 剛	令和5年度	西條 司
平成8年度	細山 剛	令和6年度	西條 司

歴代女性部（婦人部） 部長名簿

年 度	女性部長	年 度	女性部長
昭和44年度		平成9年度	野崎 輝子
昭和45年度		平成10年度	野崎 輝子
昭和46年度		平成11年度	中条 玲子
昭和47年度		平成12年度	中条 玲子
昭和48年度		平成13年度	中条 玲子
昭和49年度		平成14年度	中条 玲子
昭和50年度		平成15年度	小林 富子
昭和51年度		平成16年度	小林 富子
昭和52年度		平成17年度	小林 富子
昭和53年度		平成18年度	小林 富子
昭和54年度		平成19年度	小林 富子
昭和55年度		平成20年度	小林 富子
昭和56年度	丸山 清子	平成21年度	丸山 正枝
昭和57年度	丸山 清子	平成22年度	丸山 正枝
昭和58年度	丸山 清子	平成23年度	丸山 正枝
昭和59年度	石塚 敏子	平成24年度	小島由美子
昭和60年度	石塚 敏子	平成25年度	小島由美子
昭和61年度	石塚 敏子	平成26年度	小島由美子
昭和62年度	宮崎マツ子	平成27年度	三浦 直美
昭和63年度	宮崎マツ子	平成28年度	三浦 直美
平成元年度	宮崎マツ子	平成29年度	三浦 直美
平成2年度	宮崎マツ子	平成30年度	青木 朝子
平成3年度	宮崎マツ子	令和元年度	青木 朝子
平成4年度	宮崎マツ子	令和2年度	青木 朝子
平成5年度	野崎 輝子	令和3年度	雲田 裕美
平成6年度	野崎 輝子	令和4年度	雲田 裕美
平成7年度	野崎 輝子	令和5年度	雲田 裕美
平成8年度	野崎 輝子	令和6年度	雲田 裕美

令和6年度現在役職員名簿

役職名	氏名	事業所名	所在地	役職員就任日
会長	西山 薫	(株)ウエルジョウエツ	三和区番町	H11.5.10
副会長	細山 剛	御菓子処ほそ山	三和区田	H24.5.13
副会長	秋山 春夫	(有)秋山建設	三和区大	R3.5.21
理事	梨本 一郎	三和牛乳	三和区大	H24.5.13
理事	丸山 敬	(有)松屋商店	三和区今保	H26.5.14
理事	青木 稔雄	(株)青木新聞店	三和区沖柳	R3.5.21
理事	青木 光達	あおき味噌(株)	三和区法花寺	H30.5.18
理事	岩澤 秀明	岩澤板金	三和区川浦	H30.5.18
理事	稲垣 潔	稲垣工業	三和区野	R3.5.21
理事	西條 敏文	西條技建	三和区日和町	R3.5.21
理事	杉浦 陽一	スギウラ内装	三和区山高津	R6.5.18
理事(青年部長)	西條 司	(有)西條機械店	三和区島倉	R5.5.20
理事(女性部長)	雲田 裕美	(有)三和モータース	三和区三村新田	R3.5.21
監事	三浦 文治	(有)ミウラオート	三和区野	H30.5.18
監事	高館 学	(株)高館建築店	三和区窪	H30.5.18
室長	飯田 利也	三和商工会	大島区菖蒲	R6.4.1
主事	北澤真寿美	三和商工会	浦川原区有島	H30.4.1
主事	村越 美雪	三和商工会	妙高市大字関山	R3.4.1
書記	卜部 美紀	三和商工会	三和区日和町	H26.4.1

令和6年度現在会員名簿

事業所名	業種	所在地	代表者
あおき味噌(株)	製造業(飲食料品)	上越市三和区法花寺	青木 光達
(株)青木新聞店	その他	上越市三和区沖柳	青木 稔雄
(株)あかり	サービス業(飲食)	上越市大和	小野島良平
(有)秋山建設	建築関連	上越市三和区大	秋山 春夫
秋山住建	建築関連	上越市三和区神田	秋山 幸一
アザレフルサワミイユ	小売業(織物・衣服・身の回り品)	上越市三和区神明町	古澤 博子
荒井興業	建築関連	上越市三和区広井	荒井 直樹
アンスリール	小売業(飲食料品)	上越市三和区末野	渡邊 晃子
(有)いいだ	サービス業(飲食)	上越市三和区番町	飯田 清人
飯田自動車	サービス業(自動車整備)	上越市三和区番町	飯田 要
(有)イガラシ	建築関連	上越市三和区田	五十嵐隆彰
五十嵐タイル	建築関連	上越市三和区沖柳	五十嵐 豊
池田板金店	建築関連	上越市三和区法花寺	池田 高志
I.M.A イチカワメタルアート	建築関連	上越市三和区神明町	市川 篤男
一塗装興業	建築関連	上越市三和区窪	渡邊 一也
稲垣工業	建築関連	上越市三和区野	稲垣 潔
伊部理容所	サービス業(理美容)	上越市三和区末野新田	伊部 雅仁
Imaginal Cell	サービス業(理美容)	上越市三和区広井	荒井 浩美
今井保温工業	建築関連	上越市木田	今井 龍朗
岩澤板金	建築関連	上越市三和区川浦	岩澤 秀明
うえき美容室	サービス業(理美容)	上越市三和区島倉	植木 美枝
上田酒店	小売業(飲食料品)	上越市三和区井ノ口	上田 茂
(株)ウエルジョウエツ	その他	上越市三和区番町	西山 秀雄
内山建築	建築関連	上越市三和区島倉	内山 一也
内山建築	建築関連	上越市三和区田	内山 千秋
F-TRUCK112YO	小売業(飲食料品)	上越市三和区島倉	松永 喜隆
(株)大滝商事	その他	上越市三和区末野新田	大滝 義文
小山田産業	建築関連	上越市三和区山腰新田	小山田周一
(有)小山田石油	小売業(ガソリンスタンド)	上越市三和区末野新田	山川 和章
小山田農場	小売業(飲食料品)	上越市三和区山腰新田	小山田孝一
カイロプラクティック 中島	サービス業(その他)	上越市三和区神田	中島 弘子
風間農場	小売業(飲食料品)	上越市三和区越柳	風間 博
(株)かじや	小売業(飲食料品)	上越市三和区下中	宮崎 義和
かずさん	サービス業(飲食)	上越市大字松村新田	倉石 和広
カットハウスユーアンドミー	サービス業(理美容)	上越市三和区神明町	横山八重子

事業所名	業種	所在地	代表者
加藤建築	建築関連	上越市三和区日和町	加藤 秀俊
かない工芸	建築関連	上越市三和区窪	金井 和廣
金井工務店	建築関連	上越市三和区窪	金井 雄一
CAFE HAYASHI	サービス業（飲食）	上越市三和区神田	酒井 里香
カラーコンサルタント宮崎朋子	その他	上越市三和区鴨井	宮崎 朋子
Cults	サービス業（理美容）	上越市子安	横尾 千春
北嶋建築	建築関連	上越市三和区日和町	北嶋 孝清
喫茶去	サービス業（飲食）	上越市三和区山高津	小林 律
クライシ金属工業	建築関連	上越市三和区島倉	倉石 勇治
グローバルアカデミー	その他	上越市三和区錦	長尾 早苗
グローバル皓翔（株）	その他	上越市三和区越柳	張 紅霞
（同）KT ジョイント	サービス業（その他）	上越市三和区下中	荻井 敬祐
古市建設	建築関連	上越市三和区大	古市 重作
（有）古市板金工業	建築関連	上越市三和区大	古市 竜也
小島木工所	建築関連	上越市三和区法花寺	小島 彰
小林製材所	建築関連	上越市三和区中野	小林 道夫
小松左官工業	建築関連	上越市三和区神明町	小松 芳夫
近藤左官	建築関連	上越市三和区窪	近藤 輝男
佐々木板金	建築関連	上越市三和区田	佐々木正浩
さとう住設	建築関連	上越市三和区川浦	佐藤 由之
佐藤鐵工所	建築関連	上越市三和区水科	佐藤 敏治
（株）澤井商事	建築関連	上越市三和区川浦	澤井 祥典
澤田塗装	建築関連	上越市三和区野	澤田 淳平
（有）サワダ建設	建築関連	上越市三和区広井	澤田 健一
（有）アーケプランニング	サービス業（飲食）	上越市三和区大	関原 知文
三和牛乳	製造業（飲食料品）	上越市三和区大	梨本 一郎
美容室サンタベリー	サービス業（理美容）	上越市上野田	青木 導子
（有）三和モータース	サービス業（自動車整備）	上越市三和区三村新田	雲田 聡
しまだ寿司	サービス業（飲食）	上越市三和区神明町	島田 清
上越インスペクション	その他	上越市三和区日和町	町永 直樹
スギウラ内装	建築関連	上越市三和区山高津	杉浦 陽一
スマシア（株）	建築関連	上越市寺町	宮本 吉裕
すみれ接骨院	サービス業（その他）	上越市大貫	田辺 清隆
清風亭	サービス業（飲食）	上越市三和区神田	木原 忠和
高倉機械店	小売業（その他）	上越市三和区番町	高倉 勇

事業所名	業種	所在地	代表者
高澤建設	建築関連	上越市三和区大	高澤 憲一
高沢製材所	建築関連	上越市三和区岡田	高沢 一明
(株) 高館建築店	建築関連	上越市三和区窪	高館 学
(有) 高橋建設	建築関連	上越市三和区川浦	高橋 栄
高橋建築	建築関連	上越市大字三ツ橋	高橋 昇
高橋さく泉工業所	その他	上越市三和区井ノ口	高橋 正
竹内建築	建築関連	上越市三和区大	竹内 堅治
たんぼぼラーメン	サービス業 (飲食)	上越市三和区神明町	山本きよみ
坪野建築	建築関連	上越市三和区桑曾根	坪野 敏雄
寺嶋建築	建築関連	上越市青野	寺嶋 豊一
トゥラスト建設	建築関連	上越市三和区井ノ口	植木 公夫
土肥理髪店	サービス業 (理美容)	上越市三和区岡田	土肥 久子
ビューティショップトマト美容室	サービス業 (理美容)	上越市三和区番町	大蔵 成子
(有) 富村左官工業	建築関連	上越市三和区水吉	松井美和子
ドライブイン藤仙	サービス業 (飲食)	上越市三和区下中	藤井 正行
トライビューデザイン	その他	上越市三和区神田	酒井 宏明
喫茶どんぐり	サービス業 (飲食)	上越市三和区川浦	飯田ミチヨ
ナイトラウンジ 奈奈	サービス業 (飲食)	上越市仲町	遠藤 晴久
中条酒店	小売業 (飲食料品)	上越市三和区岡田	中条 玲子
(有) 南波工務店	建築関連	上越市三和区末野新田	南波 一裕
難波建築	建築関連	上越市東城町	難波 正雄
(有) 西條機械店	小売業 (その他)	上越市三和区島倉	西條 裕
西條技建	建築関連	上越市三和区日和町	西條 敏文
音&土工房	製造業 (その他)	上越市三和区島倉	高橋 鉄雄
ヘアーサロン HEARTY	サービス業 (理美容)	上越市三和区島倉	高橋 浩志
はんぎや	小売業 (飲食料品)	上越市三和区下中	荻野 尚
ピザハウスほのぼの園	小売業 (飲食料品)	上越市三和区末野新田	宮嶋 和則
陽乃出	小売業 (飲食料品)	上越市三和区水科	本多 鷹也
フォレスタ/自然木工房 森の仕事人	サービス業 (飲食)	上越市三和区島倉	田ヶ久保隆道
袋材木店建築事務所	建築関連	上越市三和区島倉	袋 昭悟
藤田登記測量事務所	建築関連	上越市鴨島	藤田 雅裕
フジマキ板金 (株)	建築関連	上越市三和区野	藤巻 淳
御菓子処ほそ山	小売業 (飲食料品)	上越市三和区田	細山 剛
(株) ホンダウォーク	小売業 (その他)	上越市三和区末野新田	石塚賢一郎
(同) 米ヴィレッジさんわ	小売業 (飲食料品)	上越市三和区田	五十嵐照佳

事業所名	業種	所在地	代表者
マエダ電気工事	建築関連	上越市三和区上広田	前田 均
松井建築	建築関連	上越市三和区越柳	松井 哲三
(有) 松屋商店	小売業 (その他)	上越市三和区今保	丸山 敬
(株) 丸勢建築	建築関連	上越市三和区日和町	丸山 直之
丸山建築	建築関連	上越市三和区塔ノ輪	丸山 英明
(株) 丸山酒造場	製造業 (飲食料品)	上越市三和区塔ノ輪	丸山三左衛門
(株) Amaya farm	サービス業 (飲食)	上越市三和区北代	室山 明美
(有) ミウラオート	サービス業 (自動車整備)	上越市三和区野	三浦 文治
宮越酒店	小売業 (飲食料品)	上越市三和区桑曾根	宮越 尚巳
宮崎商店	サービス業 (理美容)	上越市三和区井ノ口	宮崎 一雄
宮崎塗装	建築関連	上越市三和区神田	宮崎 成美
(名) 宮崎農機具店	小売業 (その他)	上越市三和区番町	宮崎美智子
宮沢建築	建築関連	上越市三和区北代	宮沢 勝行
宮沢栗農園	小売業 (飲食料品)	上越市三和区北代	宮沢 和一
山川農場	小売業 (飲食料品)	上越市三和区岡木	山川 辰夫
山田建築	建築関連	上越市三和区日和町	山田 弦
山本食料品店	小売業 (飲食料品)	上越市三和区法花寺	山本 和夫
吉田興業 (株)	建築関連	上越市三和区日和町	吉田 賢二
ヨシハラサービス	建築関連	上越市三和区法花寺	吉原 和彦
ヨツバテック	建築関連	上越市三和区本郷	佐藤 弘樹
米山木工所	建築関連	上越市三和区窪	米山 均
RUCO hair +	サービス業 (理美容)	上越市三和区下中	横尾 美和
(株) 和久井	建築関連	上越市三和区大	和久井文雄
渡邊理容室	サービス業 (理美容)	上越市三和区番町	渡邊 稔
新井信用金庫三和支店	金融業	上越市三和区番町	猪股 善浩
三和西部工業団地協同組合	その他	上越市三和区野	細井 仁

令和6年10月31日現在

法定会員 120人

特別会員 9人

定款会員 2人 (青年部・女性部の正副部長6人を除く)

計 131人

三和村商工会館建設概要

1. 建築の概要

- ① 建設場所 新潟県中頸城郡三和村大字井ノ口 329-1 福祉センター西側
- ② 敷地面積 152㎡ 所有者 三和村
- ③ 建物の構造 鉄骨2階建 屋根 長尺カラスステン葺
- ④ 建物の面積 延べ 295.92㎡ (89.34坪)
一階 144.36㎡ (43.58坪) / 二階 151.56㎡ (45.76坪)
- ⑤ 設計管理者 三和村 遠藤建築事務所
- ⑥ 工期 着工 昭和63年7月16日 竣工 昭和63年11月12日
- ⑦ 施工者 三和村 株式会社 渡辺建設

2. 工事費の概要

単位：円

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
県補助金	20,000,000	建物建設工事費 附帯設備工事費	40,940,000
村補助金	6,000,000		
寄付金	1,330,000	土地購入費	0
会員積立金徴収金	18,970,000	建設諸雑費	4,160,000
借入金	0	設計監理費	1,200,000
合 計	46,300,000	合 計	46,300,000

3. 建設経過概要

(昭和50年度)

- 5月5日 第15回通常総会に於いて、会館建設の方向づけを提案し積立金1,000円に決定。

(昭和52年度)

- 1月24日 理事会に於いて、6名の会館建設準備委員の委嘱。
- 3月28日 建設委員にて牧村商工会館を視察。

(昭和53年度)

- 5月5日 第18回通常総会に於いて積立金2,500円に決定。
- 9月27日 会館建設について議会で一般質問を行う。

(昭和54年度)

- 7月30日 役場庁舎一部取得補助金を県、県連に要望。

(昭和62年度)

- 6月23日 村有地の借用を村長に請願。
- 7月28日 会館建設準備委員会を会館建設実行委員会に改組。
- 7月29日 村有地を貸与する旨の回答を受ける。
- 8月3日 県、県連合会に陳情。
- 11月20日 臨時総会を開催し建設案を議決。

(昭和63年度)

- 6月15日 会館建設の補助金内示を受ける。
- 7月16日 指名競争入札により 株式会社 渡辺建設へ落札。
- 7月19日 起工式
- 11月12日 工事完了検査
- 11月28日 竣工式



三和商工会及び三和区の概要

上越市三和区は、上越地方の中央に位置し、東部は薬師山の 210.5m を最高とする丘陵地となっていますが、それを除くと平坦地が広がっており、新潟県でも屈指の "新潟米" を生産する自然豊かな穀倉地帯です。そのため農業が中心産業でしたが、近年では交通網の整備が進み、西部に工業団地が造成され、県内外の企業誘致に取り組み産業振興にも力を入れてきました。

昭和 30 年に 3 つの村が合併して三和村となり、三和村商工会は昭和 35 年 8 月 31 日に設立総会を開催し翌年 1 月 28 日に正式発足しました。設立当時は商工業者数 307 名、会員数 186 名、職員 1 名という状況で、事務所も三和村役場庁舎の一角を借りてのスタートでしたが、その後、事業規模も拡大し職員数も 5 名となり、昭和 63 年 11 月には待望の商工会館完成が実現しました。

また、平成 17 年 1 月 1 日には、上越市と三和村を含む周辺 13 町村が合併したため、同年 6 月に名称を「三和商工会」とし、多様化する会員ニーズや変化著しい経済社会情勢に対応しながら、地域商工業発展のため事業推進に努めてきました。

三和区は、古来からの文化遺産として、国指定の水科古墳群、県指定の石造仏頭などの文化財が区内に散在しています。また、東部丘陵地の高台には、高田平野と妙高連山を一望できるロケーションを活かし、「ホテル米本陣」を中心とした「米と酒の謎蔵」「味の謎蔵」などの観光施設が立地されましたが全ての施設が廃止されました。

東部丘陵地に散在する貯水池より豊富な水が供給され、平野部の豊かな穀倉地帯で三和特産の "新潟米" が生産されます。また、この米と自然に湧き出る良質の天然水を使用し、全国的にも有名な「雪中梅」に代表される地酒が造られています。この他にも豊かな自然を活かし、味噌や栗・葡萄といった特産品の製造・栽培が盛んに行われています。

四季折々変化を見せる豊かな自然、伝統文化が息づく安らぎ、人の笑顔があふれる「さんわ」です。



商工会の組織集約化に向けた取組経過・予定

月 日	会議名等	会 場	参加者	協議・決定事項
R3. 4.22 (木)	第1回理事会	三和商工会館	役職員	・県が示した枠組み案により協議に入ることを決定
R3. 6. 7 (月)	上越南地区商工会の組織集約化に伴う第1回検討会議	三和商工会館	五商工会長、事務局	・枠組みの検討、決定 ・幹事商工会は、板倉商工会の方向性
R3. 8.27 (金)	上越南地区商工会の組織集約化に伴う第2回検討会議	板倉商工会館	五商工会長、事務局	・今後の具体的な進め方の検討 ・各商工会の合併に対する意見集約の確認 ・合併の時期はR7.4.1を目指すことを決定 ・会員への周知内容等を検討
R3.11.26 (金)	上越南地区商工会の組織集約化に伴う第3回検討会議	三和コミプラ	五商工会正副会長、事務局	・合併期日及び支所機能のあり方の検討
R4. 1.31 (月)	上越南地区商工会の組織集約化に伴う第4回検討会議	三和商工会館	五商工会長、事務局	・合併期日をR7.4.1とすることで確認 ・通常総会終了後に「合併検討協議会」を立ち上げる会長会議を開催する
R4. 5.20 (金)	令和4年度通常総会	三和地区公民館	会員	・令和4年度一般会計事業計画並びに収支予算の決定についての議案中、合併検討協議の推進の記載を決定
R4. 7.27 (水)	第1回上越南地区商工会合併検討協議会	板倉商工会館	協議会委員	・正副会長の決定 ・今後のスケジュール例、4商工会の組織、財政等の現状説明
R4. 9.27 (火)	第2回上越南地区商工会合併検討協議会	板倉商工会館	県連2人 協議会委員18人、 事務局6人	合併方式：新設方式 組織体制の検討： 各商工会が持ち帰り検討
R4.12. 5 (月)	第3回上越南地区商工会合併検討協議会	板倉商工会館	県連2人 協議会委員14人、 事務局6人	組織体制を「本所のみとし、支所は置かないこととする。」と決定した。 名称を「上越南商工会」とした。役員数を22人とした。
R5. 3.23 (木)	第4回上越南地区商工会合併検討協議会	板倉商工会館	県連1人 協議会委員16人、 事務局6人	定款や運営規則の条文を確認した。会費及び手数料は別途検討することとした。
R5. 6.28 (水)	第5回上越南地区商工会合併検討協議会	板倉商工会館	県連1人 協議会委員18人、 事務局6人	会費賦課割表並びに手数料及び使用料徴収基準表を決定した。本所以外に定期相談会を置く検討をしていく。 今後の打合せ会議等の開催予定
R5. 7.31 (月)	上越市から本所候補施設提示			板倉保健センター、旧宮嶋小学校、旧清里歴史民俗博物館が提示される。
R5. 9.27 (水)	第6回上越南地区商工会合併検討協議会	板倉商工会館	県連1人 協議会委員16人、 事務局6人	会費賦課割表及び使用料徴収基準表の見直しが承認される。本所候補施設が板倉保健センターに決定される。 各種規程の確認を行う。

R6. 3.18 (月)	第7回上越南地区商工会 合併検討協議会	板倉商工会館	県連1人 協議会委員15人、 事務局6人	最終回とし、推進協議会に移行 することとした。
R6. 6. 4 (火)	合併基本協定調印式	板倉商工会館	上越市長、県連会長他2人、 板倉区総合事務所長他1人、 正副会長8人、事務局5人	上越市長立会のもと、調印、披 露、記念撮影が執り行われた。 樋口板倉商工会長が主催者代表 挨拶、上越市長並びに県連会長 の祝辞をいただく。
R6. 7. 4 (木)	第1回上越南地区商工会 合併推進協議会	板倉商工会館	県連1人、 協議会委員13人、 事務局5人	協議会委員の委嘱、事前協議事 項と内容検討、合併までのスケ ジュールの確認。新商工会事務 所の配置等の検討。
R6. 9. 4 (水)	第2回上越南地区商工会 合併推進協議会	板倉商工会館	県連1人、 協議会委員13人、 事務局5人	臨時総会議案審議と合併契約書 並びに調印式日程、会場及び出 席者等を決定。債権者保護手続 及び合併認可申請、設立登記に 係るスケジュールの検討。
R6.11. 8 (金)	臨時総会	三和商工会館	会員	合併及び合併契約書の承認。設 立委員の選任を正副会長に決定 した。

【今後の予定】

R6.11.14 (木)	合併契約書調印式	牧区 割烹新柳	上越市長、県連会長他2人、 5区総合事務所長、 市担当課長、正副会長8人、 事務局5人	上越市長立会のもと、調印、 披露、記念撮影。
R6.11月下旬 ～R7.3月下旬	設立委員会の開催 (2回)	板倉商工会館	設立委員12人、事務局5人	合併認可申請に係る内容協議。 定款、規約、規程の作成。 事業計画、収支予算の作成等
R7. 4. 1 (火)	上越南商工会開所式	板倉 保健センター		

「若き日の夢物語」

雲田 登美男

最近人口減少という言葉が多く聞かれるようになった。自分が卒業した小学校や、三和商工会の名も間もなく消えようとしている。心情的には大変淋しいことだが、それも時代の流れであり、仕方がないのだろうか。昔を思い出すと笑えるようなことも色々やってきたなと思う。

私が商工会に携わることになったきっかけは、当時経営指導員をしておられた今井昭さんに誘われて青年部の一員となったことだったように記憶している。

入会して間もなく青年部の研修会があり、東京から講師の先生に来ていただいた。もともと我々の気の合う仲間で「ビスターズ」という5人組を作っていたのだが、その仲間で懇親会の席上大いに盛り上がっていた。その折に（今はその名もなくなった）米本陣周辺の開発について講師の先生に相談すると、大変興味を持たれ、翌朝そろって現地を視察しに行くことになった。

その仲間で話していた内容というのが、米本陣一带の土地と日向鉱泉を買上げ、広い土地に羊を放し飼いにし、羊の肉でジンギスカンをメイン料理にした温泉旅館を建設するという壮大な構想だった。

現地を見た途端に講師の先生もその構想に賛同され、「ぜひ一口乗りたい」とのことになり、ビスターズの夢も一気に現実味を帯びてきた。

ところが現実はその簡単ではなく、資金調達の問題になると誰一人「自分が出そう」という者はなく、行き詰まってしまった。

その後数年が経ち、今では悪名高い一億円政策により、三和村にも米と酒の謎蔵、味の謎蔵が建設され、さらに米本陣といった立派な施設が作られることになった。我々の若い頃の夢がその頃になって、ようやく実現することになったのである。

その夢の施設も今また姿を変えて、まさに若き日の夢物語であった。



ホテル米本陣

「家業の歩みと商工会の思い出」

宮崎 義和

我が家の屋号『かじや』が示す通り、祖父以前の代では鍛冶屋を営んで居た様で、農村地帯でもあり刀鍛冶では無いいわゆる農耕具を扱う鍛冶屋だったと伝え聞いています。

祖父の代に、今の原形となる食料品や酒類を扱う店舗へと代わり、私が小学生の頃の記憶では、農村地帯の何でも屋の名残でしょうか、豆腐の製造の傍ら長靴や田植え足袋、稲刈り鎌や釘針金の販売もし、ガラスの修理もしていたので驚かれるかも知れません。

私は高校を卒業して4年後に家業に入り、覚えての技術ではありましたが、宴会と仕出し中心の店舗へと新装して行きました。家業に入って間もなく商工会青年部から入会のお誘いがあり、これが商工会との関係の始まりです。

青年部の思い出は、なんと言っても野球です。地元の早朝野球や当時の頸北地区商工会の野球には相当のめり込んで居て、ここには書き切れないほどの思い出があります。野球は下手の横好きでしたが、家業そっちのけで没頭して父母や妻に迷惑をかけたことが多くあり、いまだに頭が上がりません。頸北大会では万年3位以下が多く、ある時3位決定戦をキャンセルしグラウンドの隣で昼食を兼ねた焼肉パーティーを始めてしまい、大目玉を食らったことも楽しい思い出です。また、体育大会や商工会のイベントで売店を出し一層懸命頑張りました。イベントとしては今はもう在りませんが、商工祭りの原点だったのではないのでしょうか。父に代わって参加するようになった商工会活動では、沢山経験することや学ぶことが多くありました。特に新しい商工会館建設の資金集めのため、会員の皆さんの所へ回った記憶では、自分達の会館ができる事に気持ちよく賛同する方もいれば、関係の無い嫌味を言われ気分を害したこともひとつの思い出です。その会館が出来た当時の喜びや、この会館で色々な事業に関して議論したこと、商工業者としての将来の夢や希望を語り合ったこと、合併のため処分されることになる商工会館を前にして、色々な思い出がよぎって来て感慨深いものがあります。

さて、私事ですが3年前に持病の腰痛もあり70歳になるのを機に宴会と仕出し業を終了しました。いま家業は、お陰様で長男が酒類販売を継続しています。私の業種が変わって来たように、50年余りの中で三和村から上越市となり商工業を取り巻く環境や市民の生活が随分と変わりました。定年の無い家業ですので、体の続く限り今後の地域の変わり方や商工業者の将来を見守って行きたいと改めて思いました。



S63.6.16 頸北地区商工会青年部野球大会



S61.10.19 鮮魚まつり

「巨大流しそうめんの思い出」

丸 山 敬

あれは2004年三和村としての最後のさんわ祭りでした。商工会青年部としても何か思い出に残る一大イベントを企画しようということで、巨大流しそうめんをやることになりました。

当時は各地イベントで流しそうめん流行りで、話題づくりのために、その長さを競いあっているような頃でしたので、私たちもどうせやるなら日本一長い流しそうめんにしようとして各地の記録を調べてみたところ、とんでもない長さの記録があることが分かり、あっさり日本一は諦めました。

場所は、三和中学校前の長い直線の道路の歩道と決めていたので、現地調査の結果、まあ300mが妥当な長さかなということで決めたと思います。勾配は、下水道の宅内配管の標準勾配を参考に2%と決めました。従って起点高さ6m全長300mの巨大流しそうめんの構想ができたのです。

青年部員も色々な業種の集まりですから、足場の段取り発注、水路に関するための雨ドヨの設置、水道の仮設工事、そうめんの使う量、調理・衛生管理等それぞれの分野の専門家である部員が知恵と労力を出し合って、巨大流しそうめんの設備と準備ができたのです。実に壮大な流しそうめん設備だったことをよく覚えています。

いよいよ本番8月7日当日女性部員の実況アナウンスと青年部員の解説付きでイベントが始まりました。最初の試食は、当時の高倉村長と服部議会議長に行ってもらい、その後たくさんの参加者に巨大流しそうめんを楽しんでもらいました。三和村最後の夏祭りにふさわしい目玉イベントになったと思います。

20年前のことなので何か資料はないかと調べたところ、三和商工会青年部のホームページに写真と動画が残っていました。

皆さんもぜひ見てください。



H16.8.7 巨大流しそうめん

「三和商工会の誇りを持って」

青木 朝子

三和商工会の合併に至り、64年もの間、地域住民の方々の生活に密着した商工会であり続けるよう努力を重ねてこれ、ありがとうございます。

私達、女性部も昭和56年に婦人部として設立以来、微力ではありますが、部員全員で活動に協力させていただき、また女性独自の視点から三和区の中で友好の輪を広げられたように感じます。

平成7年11月商工会全国大会において全国商工会連合会会長賞を受賞するなど常に商工会の活性化と住みやすい地域づくりのために活動を継続してきました。

主な活動内容として設立以来、教養講演会の開催、地域の介護施設への奉仕活動、地域のイベント（さんわ桜の陣、三和村文化祭等）への出店協力、商工会前の花壇整備（花いっぱい運動）、先進地視察研修、三和町等他県との交流、バレーボール大会への参加、村長との懇談会など様々な活動を通じて部員の気心も分かり合い、親睦旅行等も楽しく有意義で楽しいひと時でした。

これから、商工会合併という新たな組織に生まれ変わり、活動内容、地域、交流が広がり対外的にも広い視野を持たなくてはならないと思います。今後とも部員一致団結して三和商工会の誇りを持ち続けて、充実した活動を展開してまいります。

改めて三和商工会の一員として心より感謝申し上げます。



R2.8.28 女性部夏季親睦会（米本陣）

思い出の写真



S56.6.17 婦人部設立総会(三和村福祉センター)



S60.6.23 三和商工会創立25周年記念永年勤続従業員表彰

* 昭和 *



S56.10.22 労災パトロール(建築部会)



S57.8.14 第1回さんわまつり(三和スポーツ公園)



S58.3.25 配管技術講習会(工業部会)



S61.10.3 婦人部設立5周年記念講演会(三和中体育館)



S61.8.31 第5回会員杯争奪野球大会(三和中グラウンド)



S61.10.19 鮮魚まつり(三和村福祉センター前)



S63.2.21 第1回さんわ雪まつり(三和スポーツ公園)



S62.11.25 西部まあと開店 (有)さんわ商業開発



S63.11.28 三和村商工会館竣工式典(商工会館)



S63.6.16 頸北地区商工会青年部野球大会優勝(三和中グラウンド)



* 平成 *



H元.4.14 三和中学校体育館火災後片付け作業(建築部会)



H元.6.18 茨城県青年部との交流会(青年部・商工会館)



H2.11.25 商工会創立30周年記念式典(三和村福祉センター)



H3.2.24 第2回さんわ雪まつり(三和村民グラウンド)



H4.2.11 第3回さんわ雪まつり(三和村民グラウンド)



H4.3.21・22 三和平成団地モデルハウス合同展示会
(三和商工会モデルハウス建築組合)



H5 全国さんわ・みわ町村青年部交流会(三和村商工会担当)



H4.7.10
米と酒の謎蔵完成記念(関係業者)



H8.10.3・4
婦人部研修旅行(佐渡 相川町)



H9.10.8
婦人部バレー県大会出場(中条町体育館)



H9.2.7
ナホトカ号沈没ボランティア活動
(柿崎町 直海浜・青年部)



H10.9.27・28 山梨県富沢町商工会との交流会(婦人部)



H12.9.24 三和村商工会設立40周年記念式典(三和村福祉センター)



H12.7.2 地域美化運動 空缶拾い、史跡看板補修(青年部)



H15.4 さんわ保育園開園前合同見学会(三和建築士会、建築組合、左官組合)



H16.8.7 巨大流しそうめん(村道 浮島中坪線)



H16.8.7
ファイナル三和夏物語
巨大流しそうめんイベント製作メンバー



H17.10.23
永年勤続優良従業員表彰式(三和商工会館)



H24.12.18 経営講演会(三和商工会館)



H28.3 グルメフェア(上越妙高駅)



H23.12.16
顧問税理士講演会(三和商工会館)



H29.2.23 金融行政懇談会(いいだ)



H29.4.15
さんわ桜の陣2017開会式(三和西部スポーツハウス)



H29.4.16 さんわ桜の陣2017 満開の桜



H29.4.16 さんわ桜の陣2017 スタッフ



H29.10 商工会長杯ゴルフ大会表彰式(はんぎや)



H30.10.5 商工会長杯ゴルフ大会参加者(サンシャインゴルフ倶楽部)

* 令和 *



R元.10 上越南地区商工会広域連携協定(板倉商工会館)



R2.3.2 金融行政懇談会(ホテル米本陣)



R元.10



R6.4.7 さんわ桜の陣2024 ドローン撮影



R2.7.10 歴代正副会長懇談会(ホテル米本陣)



R5.4.9 さんわ桜の陣2023 クラシックカー展示



R5.4.9 さんわ桜の陣2023 開会式



R6.5.17 令和6年度通常総会
最後の通常総会(三和地区公民館)

三和商工会解散式実行委員会

役 職	本会役職	事 業 所 名	氏 名
委 員 長	副 会 長	御菓子処ほそ山	細山 剛
副委員長	副 会 長	(有)秋山建設	秋山 春夫
委 員	会 長	(株)ウエルジョウエツ	西山 薫
委 員	理 事	(株)青木新聞店	青木 稔雄
委 員	理 事	稲垣工業	稲垣 潔
委 員	理事（青年部長）	(有)西條機械店	西條 司
委 員	女性部監査委員	(有)ミウラオート	三浦 直美

あ と が き

三和商工会が誕生して 64 年、解散記念誌の制作を進めるにあたり、商工会の歴史を振り返ることは、三和村、三和区の歴史を振り返ることでした。風水害、豪雪、地震等多くの自然災害等乗り越え、発展してきた地域づくりに商工会が大きく貢献してきたことを実感しました。

商工会は、高度経済成長期の昭和 35 年に設立し、日本経済が好況不況を繰り返す中、知恵と工夫を結集し、苦難の克服と隆盛を繰り返しながら、地域経済を牽引し躍進に導いてくださった先人の皆様のご努力を改めて感じさせていただきました。

ここに「三和商工会解散記念誌」を寄稿者の方々を始め、多くの皆様のご協力により発刊することができましたことを深く感謝申し上げます。

編集にあたり、不備な点や誤記等が多々あろうかと存じますが、お許しいただきますようお願い申し上げます。

先人の業績を感じながら、ご愛読いただければ幸いです。

発行 **三和商工会** 令和6年11月8日発行

〒943-0316 上越市三和区井ノ口329-1
TEL 025-532-2192 FAX 025-532-2454
E-mail sanwasyo@shinsyoren.or.jp
編集・印刷 サクラ印刷株式会社

